



総合人間 学部

FACULTY OF INTEGRATED HUMAN STUDIES

総合人間学科

総合人間学部が望む学生像

総合人間学部は、たえず変化する現代社会における人間と文明と自然の新たな結びつきを見出すために、人文科学、社会科学、自然科学を横断する「人間の学」の創出をめざしています。本学部が求めるのは、この基本理念に共鳴し、次の4点の素養をもつ人です。

- ① 「人間の学」の創出という挑戦に積極的に加わりようとする志をもつ人。
- ② 人類が直面する様々な課題に向きあう進取の精神をもつ人。
- ③ 持続的で創造的な取り組みを支える教養を身につけたいと考える人。
- ④ 修得した知識・技術を活用する主体的な思考力・判断力・表現力を備え、他者と協働しながら学ぼうとする姿勢をもつ人。

京都大学の総合人間学部とは

京都大学で最も新しい学部

「総合人間学部」は平成4(1992)年10月1日に法令上設置され、平成5(1993)年4月に第1期生を迎えた、京都大学で最も新しい学部です。

新たな「人間の学」の創出

文理にまたがる多様な教養・基礎科目、複数の学系の入門科目、複数の外国語科目等を幅広く学ぶことを通じて、人間・文明・自然に対する幅広い知識と理解力を身につけます。そのため、主専攻・副専攻という制度を取り入れており、自らの学問的関心に応じて選択した主専攻を系統的に学ぶだけでなく、主専攻とは異なる学問分野を副専攻として学び、自らの専門分野にとらわれない柔軟で重層的な思考力を養います。さらに卒業論文・卒業研究への取り組みを通して専門性を深めるとともに、現代の諸問題の解決に挑戦する創造的姿勢と持続力を育みます。

知的コミュニケーション能力の涵養

ゼミ・演習等の少人数科目を履修し、教養・基礎から専門の領域にわたる知識と能力を濃密な議論の中で培うとともに、他者に自らの見解を表現するためのプレゼンテーション能力および対話能力を身につけます。

既存科学の枠を超えた総合的な学問の場

総合人間学部では専門分野の細分化を避けるために1学部1学科制とし、「総合人間学科」に人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系の5学系を設けています。但し入学当初1年間は学系に属さず、幅広い分野を自由に学習し、2年次から主専攻とする学系で学びます。



人間そのものと人間をとりまく世界を 文理をこえて総体的に捉えて学ぶ

京都大学 総合人間学部の特徴

かつてない人材を育む5つの学系

総合人間学部が設ける5つの学系、人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系、それぞれに教育・研究の目的や学習対象はありますが、共通しているのは“かつて存在しなかった新しいタイプの人材”を養成することです。これを前提に5学系がダイナミックかつ有機的に連携した教育と研究を展開、人間そのものと人間をとりまく世界について、文理の枠組みをこえて総体的に学ぶことができる環境を整えています。

※各学系の詳細は次ページ参照

文理を超越する2年次での専攻選択

入試制度などが定める“文系・理系”の枠組みを超越しているのも総合人間学部の特色であり、入学後1年間は幅広い学問分野にふれながら自身の興味・関心を探り、主専攻となる学系を見定めています。そうした1年を経ての2年次進級に際し、人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系、いずれかの学系を選んで所属し、3年次後半からの卒業研究や大学院 人間・環境学研究科への進学を視野に入れつつ学習を進めます。

教養と専門性を統合する4年間一貫教育

総合人間学部では4年間を通じ、柔軟で幅広い視野を備えた知性を育む全学共通科目と5学系それぞれの専門科目を有機的に連結させたカリキュラムを編成し、教養と専門性の統合を図っています。また、専門科目については、事実上、総合人間学部の大学院である人間・環境学研究科の教員が主として指導を担当し、高度かつ先進的な学びを提供しています。あわせて教員アドバイザー制度を設け、履修に関する指導や学生生活についての相談などに応じています。

幅広い視野と創造性を育む副専攻制度

総合人間学部では、各自が所属する学系の専門分野ではない特定他分野を系統的に履修する副専攻制度を設けています。その目的は幅広い視野と豊かな創造性をもつ人材の育成にあり、学系で培う高度な専門性に、他分野の深い知識と素養を身につけることをめざします。副専攻の履修については、指導教員との相談に基づき各自で選択します。なお、副専攻の修了に際しては、学士の学位記とあわせ、副専攻名を記した認定書が授与されます。

大学院 人間・環境学研究科への接続

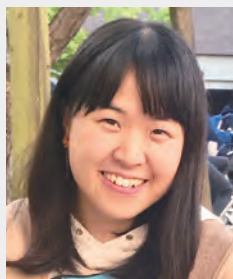
総合人間学部の学びは大学院 人間・環境学研究科に直結しており、例年約3割の学生が進学します(本学の他研究科や他大学の大学院への進学も可能です)。人間・環境学研究科には共生人間学専攻、共生文明学専攻、相関環境学専攻という文理統合型の3専攻に計14講座が設けられており、それぞれにおいて高度な研究に取り組みます。あわせて大学院の修了後、附属研究所などに勤務し、研究を発展していけるのも京都大学ならではの学びです。



◆総合人間学部新入生歓迎会合の様子

在学生からのメッセージ

カオスな個性が共存する世界



総合人間学部
認知情報学系 3年生
尾島 晴香さん
奈良県 奈良高等学校 出身

「総合人間学部って何する学部なの?」-この問いに対して「何でもやりたいことができる学部」というのが私の答えです。必修科目が少ないため、型にはまらずに大部分を興味の赴くままに学べるのがこの学部が一番の良さであると考えています。また、学部の自由度が高いため、留学やボランティアなどの課外活動に積極的に取り組める環境であることも大きな魅力だと感じています。このように主体性を存分に活かせる環境での総人生との日々には新たな刺激や発見がたくさんあって、多様な考え方を育むことができ、とても楽しく有意義な毎日を過ごせています。後悔のない学生生活を送りたい方はぜひ総人へ!

450字程度で総合人間学部を説明せよ



総合人間学部
人間科学系 4年生
池田 真実子さん
滋賀県 膳所高等学校 出身

よく言われること、その一。総合人間学部って何をしているの?よく言われること、その二。必須科目ないんだってね、楽だね。まず、その二から考えてみましょう。ここでいう必須科目とは、卒業するために必ず取らなければならない科目のことです。総合人間学部に必須科目がないというのは言い過ぎで、もちろん卒業のための条件はあるのですが、それでもその条件の範囲内でそれぞれの興味に合わせて選択可能ということを考えれば、あながち間違いではありません。ですが、よく考えてみてください。その二の発言は、鬱蒼としたジャングルの奥地に不時着した人間に「360°どこでも行き放題だね、楽だね」と言うようなものです(山極総長も「大学はジャングルだ」とおっしゃっています!)。どこに自分にとっての宝物があるかわかりません。地図はありません。とにかく考え、冒険するしかありません。これが総合人間学部です。このように考えると、自ずとその一、その二の答えは出てきます。総合人間学部が何をしているのか?各々、自らの興味の赴くままに学問という世界を冒険しているのです。こう言ってもわからないでしたら、ぜひ入ってみることをおすすめします。

総合人間学部

5学系の紹介

人間科学系

人間に関する既存知をふまえつつ、包括的で根底的な人間理解をめざします。その方向は3つあり、第1は“思想”研究による人間存在の哲学的・倫理的な解明、ならびに芸術など創造行為の歴史的な解明です。第2は“社会”研究による人間の形成や社会行動についての実証的・理論的な解明です。第3は“文化”研究による文学や映画などの文化現象に関する歴史的・社会的な解明です。これらは人間形成論、社会行動論、文化社会論、人間存在論、創造行為論、文芸表象論の6分野で成り立っており、その有機的な連関により、人間の知を刷新することをめざします。

人間形成論、社会行動論、文化社会論、人間存在論、創造行為論、文芸表象論



◆ボッティチェリ「リベラル・アーツに導かれる若者」
背景は宇治分校正門(昭和31年)。

認知情報学系

人間相互や人間と環境の関わりは、脳や身体、言語等をインターフェイスとして行われ、脳内の認知機構と行動制御機構によって実現されています。これらを前提に「認知情報学系」では、人間の多様な創造性を深く理解することをめざし、人間の健康、脳の機能、人間の認知、行動発現、言語機能、その基礎となる運動・代謝栄養医学、情報科学、数理学など、人間や機械の情報処理システムを総合的に学びます。その過程で理系・文系という枠を超えた幅広い探究能力、人間の認識行動の包括的理解に基づく科学的で柔軟な思考能力を身につけていきます。

認知・行動科学、数理情報論、言語科学、外国語教育論



◆MRIを用いた実験風景

国際文明学系

社会科学や人文科学の諸分野が柔軟性や他領域との連携性を失い、現代社会が直面する深刻な諸問題の解決に、対処できなくなっているとの指摘があります。その克服に向けて「国際文明学系」では、社会科学はもとより、日本・東洋・西洋の歴史と文化をふくむ人文科学の諸分野から選んだテーマに軸足を置いた研究に取り組みつつ、関連する諸学問を領域横断的に学びます。これらを通じ、真の意味での「ユニバーシティ」で学んだ者がだけが体得する高度で幅広い教養(リベラル・アーツ)、柔軟な思考に裏付けられた専門知の習得をめざします。

社会相関論、歴史文化社会論



卒業生からのメッセージ

道なき道を歩く練習

総合人間学部には、カッチとしたカリキュラムがあるわけではなく、何を専攻にしようかと、もがく人もいます。私も色々悩みながら、3回生の時にフランスに交換留学し、卒業が1年遅れたりもしました。これは短期的に見れば、非効率かも知れませんが、卒業から10年が経ちましたが、学部時代の回り道は、それほど悪いものではないと思います。現代社会において、これまでの「よくあるパターン」の人生を歩む人は、少なくなっているのではないのでしょうか。逆に言えば、自分の歩む道を切り拓く力が必要です。総合人間学部ほど、この練習に適した学部はないでしょう。私は卒業後、日本でいわゆる安定した職業に就きましたが、30歳を手前に拠点をドイツに移し、何十カ国もの出身国の同僚たちに揉まれながら、現在は風力発電ビジネスに関わっています。学部時代のうちから、色々な学問分野や価値観に触れてきたからこそ、そのような思い切った決断や、曲がりなりにも異文化に適應しながらの仕事ができているのかもしれない。



シーメンス・ガメサ・リニューアブル・エナジー

坂田 三太郎さん

京都大学 総合人間学部 認知情報学系
2008年3月卒業
東京都 筑波大学附属高等学校 出身

自分でレールを敷いたことがありますか？

大学は高校までの「教わる」場とは異なり「学ぶ」場です。特に、「教科書に書いてあることを教わる」場ではなく、「教科書に書いていないことを学ぶ」場です。しかし、昨今は大学の専門学校化が進み、主体性を無視した教える教育を行う大学が増えています。これは「わからないことは(教員が)教えてくれる」という最近の学生の考え方に応えようとするものだと思います。しかし、本来は「わからないことは(自ら)学ぶ」が大学生として正しいスタンスです。私の経験上、総合人間学部から何かを「教わる」ことはありません。「学ぶ」環境が整った貴重な学部だと思っています。総合人間学部敷かれたレールはありません。自分でレールを敷いたことが無い人、目的はないがどりあえずレールを敷いてみたい人、レールを敷いて新しい知識を得ようとする意欲のある人、奇想天外なおもしろいレールを敷いてみたい人、ぜひ総合人間学部をお勧めします。



京都大学 大学院 人間・環境学研究所 助教

江川 達郎さん

京都大学 総合人間学部 認知情報学系
2007年3月卒業
大阪府 近畿大学附属高等学校 出身

文化環境学系

本学系では近代文明のグローバル化が進展する現代においてその基層単位をなす世界各地固有の民族性や地域性、人間社会にとって基本的な人間活動や居住の諸相の実態と、将来的な意義を見定める視座の確立を追及します。また各文明の地域的特性を多角的に比較しながら、文明相互の交流とその文化的所産、さらには文明の自己相対化の諸相を種々の記憶にも留意しつつ複眼的な視点から解明します。

教育方針としては、文明・文化や環境に関して日本人の常識が必ずしも世界の常識ではないこと、文明・文化はたえず交流変化しつつ、その自己同一性は長く保たれるという複雑な存在であることを理解し、文明・文化や環境の諸問題を研究する上で、現場で学ぶことの重要性を身につけてもらいます。

比較文明論、文化・地域環境論



◆アフリカでのフィールドワーク

自然科学系

「21世紀は環境の世紀である」と言われます。自然科学系は、環境を構成する物質や生命、地球、さらには宇宙を支配する基本原理やその間の相関関係を理解することを目指した学系です。物理学、化学・物質科学、生物科学、地球科学で構成されています。それぞれの学問領域が持つ基本的な考え、知識を基礎とし、さらにその間の壁を越えて新しい領域を模索するために必要な教育と研究が行われています。自然科学の基礎に基づく「自然観」と、他の系での学修から得る「人間観」を組み合わせ、新たな知の創造をめざします。

教育の特徴は、野外や室内で行う観察や実験を通して「事実」に向き合い、その正しい理解と考察をくり返して行くことが挙げられます。時には「不都合な真実」に遭遇するかも知れませんが、その裏に隠れている面白い新発見を見出すこともこの分野の楽しみです。

物理学、化学・物質科学、
生物科学、地球科学



◆総合フィールド演習(伊勢湾海底生態生物調査)



卒業後の進路

◆進学／約3割が人間・環境学研究科等の大学院へ進学します。

◆就職／就職先は情報通信業や金融業、マスコミやIT関係といった官公庁や教育機関、化学・電気・機械等のメーカー、広告会社等のサービス業等、総合人間学部の特色を示すように多岐に渡っており、卒業生は社会の広い分野で活躍しています。

◆就職先の例／(株)三菱東京UFJ銀行 日本銀行 東京海上日動火災保険(株) 楽天(株) (株)リクルートキャリア 川崎重工業(株) 伊藤忠商事(株) 一橋大学(事務職) 教育委員会(教員) 防衛省 (株)毎日放送 RIZAPグループ(株) 日本郵船(株) トヨタ自動車(株) 東海旅客鉄道(株) NPO法人 フローレンス キャノンメディカルシステムズ(株) など

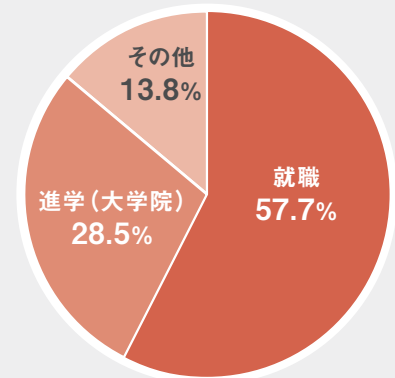
◆取得可能な資格／総合人間学部は下記の種類・教科に関する課程認定を受けており、教育職員免許法の実定による所定の単位を修得し、所定の手続きを行えば免許状が取得できます。また、博物館等の学芸員や図書館司書の資格も他学部の科目を修得することで取得することができます。

〈取得可能な教育職員免許の種類と教科〉

中学校一種／国語 社会 数学 理科 英語

高等学校一種／国語 地理歴史 公民 数学 理科 情報 英語

2017年度卒業生の状況





文学部

FACULTY OF LETTERS

人文学科

文学部が望む学生像

京都大学の文学部は、哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念をふまえながら、新たな知的価値の創出をめざす学生を求めています。入学者の選抜においては、次の3点が問われます。

- ① 総合的な基礎学力をもっていること。
- ② 過去から現在に至り、さらに未来にまで伸びる人類の営みについて、深い関心をもっていること。
- ③ 高度な文章読解力、および論理的かつ柔軟で、創造性豊かな思考力とそれを表現する力をもっていること。

京都大学の文学部とは

6学系31専修で文化全般をカバー

現在、文学部には哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学、6つの学系があります。あわせて6学系に計31専修が設置されており、人類の思想や言語文化、歴史、行動、文化全般に関する諸学問を広くカバーしています。

キーワードは「人間とその文化的営み」

文学部の多種多様な研究を束ねるキーワードは「人間とその文化的営み」です。その研究領域は人類文化の起源から現代に至っており、地理的にも日本から地球の全域におよびます。また、多様に広がる専門研究を担う専修は、それぞれ独立した研究室を形成しており、学生は教員や大学院生と授業等の場を共有することで、多くの学びと知見を得ていきます。

各研究室が学問的ネットワークを形成

6学系31専修にある研究室の多くは、他大学などで研究職に就く卒業生も加えた研究会を運営しており、そうした独自ネットワークの広がりが、100年をこえる文学部の学問的伝統を支えています。

「京都学派」と呼ばれる自由な学風

京都大学の文学部は「京都学派」と呼ばれる独自の自由な学風を育むことで各界に多数の有為な人材を輩出し、国内に数ある文学部の中でも特筆すべき位置付けを示しています。こうした歴史と伝統に培われた学習環境が、他に例がないのはもちろん、この知的交流の場に新入生が新風を吹き込んでくれることを求めるなど、新進の精神が絶えないのも京都大学の文学部ならではのです。



人間の諸活動を原理的に解明することをめざし 哲学・歴史学・文学・行動科学の課題に向きあう

京都大学 文学部の特色

国際化に対応した新しい研究者の育成

京都大学の文学部が掲げる最大の目標は研究者の養成です。但し研究対象が日本あるいは諸外国・地域の文学・文化に関わらず、国内の評価だけで研究者として認められる時代は過ぎ去りました。世界の研究者と対等に渡り合い、自身の研究価値を世界に認めさせながら国際的研究水準のレベルアップに寄与し、世界各国・地域の研究者がナショナリズムをこえた相互理解の共通基盤に立てるよう、努めなければいけません。これらをふまえ、京都大学の文学部では学部生の時点から留学生や外国人研究者との交流、国際的シンポジウムなどへの参加を通じ、国際化に対応した新時代の研究者を育成しています。

専門性の高度化につながる明確な目標設定

京都大学の文学部では、思想、言語、文学、歴史、行動、現代文化、それぞれの学術体系を習得することにより、人間の諸活動を原理的に解明することをめざします。あわせて絶えず変化する環境下、これらの学問がもつ価値を問い直す研究者としての専門性の高度化をめざし、次の学習目標を設定しています。

◎哲学・歴史学・文学・行動科学に関する基礎的学識と専門分野についての深い理解力を養い、卒業論文の作成を通じ、問題の探究・分析能力や表現力を身につける。

◎哲学・歴史学・文学・行動科学に関する諸課題に向きあうことで問題の発見・解決能力を養い、創造的に取り組む姿勢を身につける。

◎人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その展開に寄与する行動が可能な能力を身につける。

◎自由で批判的な精神と良識を養い、人類が直面する課題を直視し、問題解決に積極的に寄与することができる能力を身につける。

教養教育の土台に専修の学びを積み重ねる4年間

●1年次／まずは1年間、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に履修します。年次進行にあわせ、学習分野は専門化していくため、この間に幅広い学問分野にふれておくことは、長期的にプラスです。あわせて2年次での学系選択、3年次での専修選択を意識し、それぞれに必要な外国語を学んでおくことが望まれます。

●2年次／次年度での専修選択に向けて、哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学、6学系のいずれかに仮分属します。あわせて各専修が開講する研究入門的な講義や基礎演習などを履修、2年次の秋に行う専修選択に備えます。

●3年次／本格的な専門教育が始まります。分属する各専修では講義の他、演習や特殊講義といった専門的な授業を履修します。その中には大学院生と共に学ぶ授業もあります。当初は大学院生の知に圧倒されることもありますが、彼等の学問を追究する真摯な姿勢から、研究者への道が見えてくるようです。また、文学部では諸外国語をふくむ文献講読を主とする授業が多い傾向にありますが、実験やフィールドワークを行う専修もあります。

●4年次／卒業論文の作成が学びの中心となります。自らテーマを定め、自ら資料を集めて分析し、自ら論文にまとめる過程は容易ではなく、辛苦を伴うこともあるでしょう。但し辛苦を乗り越えた経験は、実社会においてきわめて有益であり、大学院に進学する学生にとっては、卒業論文の作成が研究者の道に行く第一歩となります。

在学生からのメッセージ

京大文学部の特色は 学生それぞれが多様な研究に 取り組んでいること



文学部
東洋文化学系 仏教学専修 3回生
佐々木 大道さん
京都府 洛星高等学校 出身

宗教に身近な環境で育ち、大学では宗教思想の研究がしたいと考えていました。そんな私にとって、周囲に寺社が点在し、さまざまな思想に関心をもつ学生が集まる京大は最適な学舎です。まだ知識は不十分ですが努力を重ね、納得のいくテーマを見つけようと思っています。また、京大文学部の特色は、学生それぞれが多様な研究に取り組んでいる点にあります。実際、哲学から現代文化まで数多くの学系と専修があり、自ら働きかければ他領域とも交流できます。学修したい内容を既に決めている人はもちろん、入学後に見つけようと思っている人にもぴったりです。今は勉強が辛いかもしれませんが、京大での学生生活を想像し、前向きな気持ちで頑張ってください。応援しています!!

文学部に入学してから 見える世界が色鮮やかで美しくなり 人生が豊かになったと感じています



文学部
哲学基礎文化学系
美学美術史学専修 4回生
池田 香子さん
東京都 富士見高等学校 出身

「文学部の勉強は、何の役に立つの?」よく聞かれるこの質問に、私はこう答えています。「文学部で学ぶのは、人生を豊かにする学問です」。私たちが文学や美術を娯楽として楽しめる裏側には、それらを体系づけ、その価値を問いつける人文学者が存在します。彼らと同じ目線に立つことは、今までとは異なる世界の見方を知ること。例えば、私が研究している美学では、文学も詩も絵画もすべて「芸術」として扱います。この見方を知ってから、文学部の他の専門分野へ、それまで以上に踏み込みやすくなりました。文学部の扉を叩いた瞬間から、見える世界の彩りが、美しさが、日々増えています。文学部で人生を豊かにする学問を味わってみませんか。

文学部

6学系の紹介

あらゆる“自明の理”を問い直し
新時代の思想の担い手を育成する

哲学基礎文化学系

「哲学基礎文化学系」は多様な文化圏・言語圏に蓄積された哲学・思想を学び、新しい時代の思想の担い手を育成する“場”です。それは社会や他の学問領域では自明とされていることの原点に立ち戻り、問い直す“場”でもあります。例えば「殺人は悪」とする常識の根拠は何なのか、善悪の区別に意味はあるのか、科学や歴史学が標榜する“実証性”とは何なのか、人間にとって宗教とは何なのか、美や芸術とは何なのか、これらの問いは人間の知的営み全般に向きあうことでもあります。哲学基礎文化学系は、そんな知的野心あふれる“場”に他なりません。



◆アウグスティヌス「告白」の冒頭部分。1491年に刊行された最初期の印刷本。

東アジア諸地域をフィールドに
時代をこえた文化研究を行う

東洋文化学系

「東洋文化学系」では日本、中国、インド、チベットなど、東アジア諸地域の文学・思想・宗教・言語などを主に、時代をこえた研究を行います。専門分野によっては科学や芸術、サブカルチャーにまで踏み込むこともあります。その基礎は文献資料の読解にあり、原文でしかわからない意図や美の理解を求め、原典言語の学習に取り組みます。めざすのは東洋と世界がどのように関わっているのか、歴史的伝統と現実とはどのように結ばれているのか、文学や芸術はどのような世界を創るのか、これらを正確な専門知識と幅広い視野から解明していくことです。



◆中国語学中国文学研究室が所蔵する貴重資料。

欧州と米国の文化と社会について
文学と言語の視点に立った研究を行う

西洋文化学系

「西洋文化学系」ではヨーロッパやアメリカの文化と社会について、主に文学と言語の視点に立った研究を行います。取り扱う時代は幅広く、古代から中世、近代や現代に至ります。但し研究対象に関わらず、その基礎は文献資料の正確な読解にあり、まずは語学力の習得に取り組みます。そして養う高度な語学力や読解力、文学や言語文化に関する深い考察力が研究者の道を拓くことはもちろん、幅広い視野に基づく異文化理解力やコミュニケーション能力を活かし、官公庁や教育、報道、出版、流通など、多方面で活躍する卒業生も少なくありません。



◆ドイツ語学ドイツ文学の研究会。

卒業生からのメッセージ

答えのない問題に向きあい
あきらめずに考え続ける姿勢は
社会人になってから役立ちます

1・2年生で幅広く教養科目を学んでから専修を決める点に魅力を感じ、京大の文学部を選びました。私自身、入学当初は英米文学に関心がありましたが、一般教養の授業を経て社会学に惹かれ、専修を決めました。また、文学部は必修科目が少ないため、本当に興味のある授業に十分な時間をあてることができ、趣味や学生ならではの活動にも没頭できます。さらに少人数制の授業では他の学生から刺激を受けることも多く、さまざまな角度から物事を考えるようになりました。文学部で学ぶのは答えのない問題ばかりですが、そうした問題についてあきらめず、考え続ける姿勢は大学を卒業してからも役立っています。



大阪ガス株式会社

太田 実穂さん

京都大学 文学部 人文学科
社会学専修 2018年3月卒業
大阪府 大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 出身

膨大な情報にアクセスできる
現代だからこそ京大の文学部に
飛び込んでみてはどうだろう

「好きな歴史を勉強したい」そんな単純な動機で京大の文学部を選びました。その先に待っていたのは、高校までの知識が通用しない大学の歴史学でした。思い出すのは2年生で受講した基礎ゼミ。近現代の政治、文化、社会について、多様な切り口で論じる新書・選書を毎週1冊購読する形式。テーマ把握、議論の構成を軸に「本の読み方」を教わる1年。今に至る新書愛好のきっかけでした。さらに卒論・修論で厳しく指導された史資料の探し方、読み方は、鉄鋼メーカーで働く今も大いに役立っています。膨大な情報にアクセスできる現代だからこそ、文学部に飛び込んでみてはどうでしょうか？素晴らしい図書館が待っていますよ。



JFEスチール株式会社

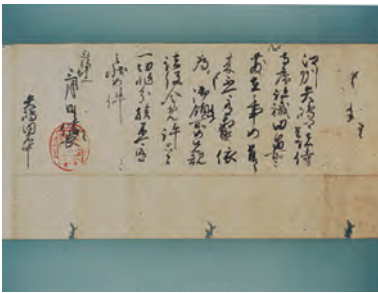
中川 卓也さん

京都大学 大学院 文学研究科 現代文化学専攻
現代史学専修 修士課程 2008年3月修了
京都大学 文学部 人文学科 基礎現代文化学系
現代史学専修 2006年3月卒業
京都府 洛南高等学校 出身

人類社会が発展した状況を
時間軸に沿って深く考察する

歴史基礎文化学系

「歴史基礎文化学系」は日本史学、東洋史学、西南アジア史学、西洋史学、考古学、5つの専修で構成されています。文献史料を主な対象とする4史学と考古学の研究手法は大きく異なりますが、人類と社会の発展を時間軸から考察する点は共通しています。また、文献や史料を読み解く学力の習得を重視すると共に、演習・実習による実践的な学びを充実させているのも5専修の共通点です。さらに他学系の授業、例えば地理学や現代史学、東西の古典語なども学ぶことにより、人類の文化的な営みを総体的に捉える視点を獲得することも可能です。



◆織田信長朱印状。

心理学・言語学・社会学・地理学
4つの専修で構成される

行動・環境文化学系

「行動・環境文化学系」は心理学、言語学、社会学、地理学、4つの専修で構成されています。心理学専修では実験を通じ、知覚・認知、思考、記憶、発達、社会性といった“心の働き”を研究します。言語学専修では人間の言語が機能する仕組みの理論的研究をはじめ、文献以前の言語を推定する研究なども行います。社会学専修では社会構造の変化や人々の関係などを研究し、昨今の多様なトピックスに焦点をあてる社会調査にも注力します。地理学専修では地域の形成過程や地域構造の分析を通じ、地表空間の多様な人間活動を研究します。



◆台上にヤシの実を置き、石で叩き割るフサオマキザル(サンパウロウ・チエテ国立公園)。

人類史で最も大きく変貌した
現代の正確な把握に取り組む

基礎現代文化学系

現代は、歴史上かつてなかったほど、人類が巨大な変化を経験している時代です。「基礎現代文化学系」は、様々な角度から、この「現代」の特質を考察します。科学哲学科学史専修は、自然科学における人類の知的な営みを研究します。現代史学専修は、現代史は世界史であるという観点に立って、歴史学的手法により現代世界を分析します。二十世紀学専修と情報・史科学専修が合併して2018年度に新設されたメディア文化学専修は、おもにメディアや情報という切り口から、人文学の様々な手法を組み合わせながら、現代文化を考察します。



◆手書きのドイツ語日記から「幾何」の単語を検索している文献研究用ツール「SMART-GS」。

卒業後の進路

◆概要／この数年は2～3割が大学院に進学しています。就職先としては官公庁や教育機関、マスコミや出版関連が多数でしたが、最近では情報通信業や金融業の比率も高まっています。また、特定の分野に偏らず、幅広い業種・業界で活躍する卒業生が多いのも文学部の大きな特徴です。

◆就職先の例／国家・地方公務員 関西電力 朝日新聞社 関西テレビ放送 講談社 三菱電機 江崎グリコ みずほフィナンシャルグループ 日本生命保険 アクセンチュア ニトリ 丸紅 など

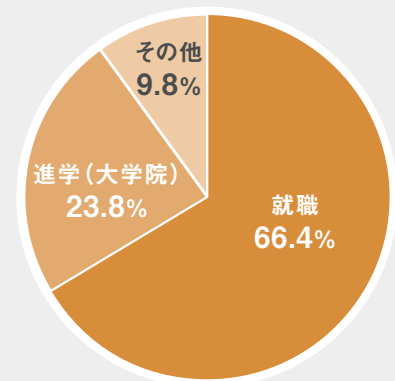
◆取得可能な資格／文学部では所定の科目を修得した場合、教育職員免許状や博物館学芸員資格の取得が可能です。また、地理学専修の卒業生で測量に関する科目を修得して卒業後1年以上、測量に関する実務を経験した者は測量士の資格が取得できます。その他、教育学部が開講する所定の科目を修得することで、図書館司書や学校図書館司書教諭の資格も取得できます。

〈取得可能な教育職員免許の種類と教科〉

中学校 一種／国語 社会 英語

高等学校 一種／国語 地理歴史 公民 英語

2017年度卒業生の状況





教育学部

FACULTY OF EDUCATION

教育科学科

教育学部が望む学生像

20世紀は教育が学校中心に機能した学校教育社会でした。しかし21世紀は学校だけでなく、社会のさまざまな場所と一人ひとりの人生のさまざまな局面において、人間形成の営みがゆるやかにネットワーク化される「人間形成社会」が出現しつつあります。これからの教育学は、この「人間形成社会」の展開過程で必要になる「新しい種類の教育」を創造するという課題に取り組まなければなりません。そのため教育学部では、心と人間と社会について、深い関心と洞察力をもち、柔軟な思考と豊かな想像力に富む学生を求めています。

京都大学の教育学部とは

教育の諸問題を学問的に探究する学部

京都大学の教育学部は、教員養成を主目的としていません。現代の教育に関する諸問題を学問的に探究し、より良き社会実現のための知と技法を開発する学部であり、学生はそれらの習得をめざします。

教育に諸科学が交わる“小さな総合学部”

複雑な要因が多層に重なりあう教育の諸問題に向きあい、解明するには心や人間、社会に関するさまざまな学問を学ばなければなりません。そのため京都大学の教育学部は、人間を深く探究する人文科学、社会の仕組みや動きを解明する社会科学、人間の心に関する諸科学など、多様な学問が学べる3つの学系を用意しており、その様相は“教育”を現実的テーマとして諸科学と共有する“小さな総合学部”に他なりません。

新しい教育学と心理学の創出

京都大学の教育学部では、理論を実践に展開するため、フィールドでの活動を重視しています。あわせて学校に限らず、生涯を通した人間の生成と変容を視野に入れ、21世紀に求められる新しい教育学と心理学の創出をめざした研究に取り組み、その成果を教育の現場にフィードバックしています。

教育界の次代を担うリーダーの育成

教育は未来を創る営みであり、教育学部は未来に関わる学問を学ぶ場です。変化の激しい現代は未来が見通しにくい時代であり、教育への期待は日増しに大きくなり、果たすべき役割の重要性も高まる一方です。これらに応えるため、京都大学の教育学部では多様な学問が学べる3学系と少人数制の利点を活かした指導により、学生たちを教育界の次代を担うリーダーへと育みます。



心・人間・社会を探究し 未来の教育を創造する

京都大学 教育学部の特徴

人間らしさを擁護・促進する態度の養成

全学共通科目による教養教育と学部科目による専門教育を有機的に関連させた学びを提供することで、現代人に必要とされる広い視野と異質さへの理解、多面的・総合的な思考と批判的判断力、これらを備えた「人間らしさを擁護し促進する態度」の養成を教育方針としています。

教育に多様な観点から向きあう3学系

京都大学の教育学部は1学科(教育科学科)3学系で編成しています。これは教育に関する総合的な理解が必要な学部レベルでは、教育に関連する諸科学の習得に向けた基礎教育を重視するためです。あわせて“ゆるやかな”専門的分化を図ることで、現代の教育が抱える複雑かつ重層的な問題に向きあい、多様な観点から解明していける能力を養います。

※各学系の詳細は次ページ参照



ゆるやかに専門分化していく4年間

入学当初は幅広く教養を培う全学共通科目を履修し、年次進行にあわせ、教育学部の専門基礎科目や専門科目に移行していきます。その間、幅広い視野や複眼的な思考力の獲得をめざし、他学部が全学共通科目に提供している専門科目の履修も推奨しています。



〈履修の要点〉

●1年次／必修専門科目の「教育研究入門」、推奨科目の「情報学」などを履修します。また、教職科目はもとより、教育学部の教員は全学共通科目の諸講義や少人数教育科目群「ILASセミナー」なども担当しており、これらを履修するのも有益です。

●2年次／教育学部の専門基礎科目を主に履修します。あわせて3年次の学系分属を意識しながら、専門分野への興味・関心や自身の適性を見定めます。

●3年次／現代教育基礎学系、教育心理学系、関連教育システム論系、いずれかの学系に分属し、各専門科目を学びます。

●4年次／学びの集大成となる卒業論文を作成します。大学院に進学する学生にとっては、卒業論文の作成が研究者の道を行く第一歩となります。

在学生からのメッセージ

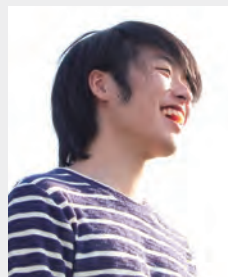
“人”が大好きな学生が
たくさん集まる環境で自らの
可能性を模索しています



教育学部
関連教育システム論系 3年生
唐澤 和さん
東京都
東京学芸大学附属高等学校 出身

教育学部と聞くと教員養成を思い浮かべるかもしれませんが、この学部には心理学、教育方法学、比較教育学など、さまざまな分野に関心をもつ学生がいます。また、それぞれの興味・関心はちがって見えますが、“人”に焦点を当てることは共通しています。私自身は教育社会学とメディア文化学を主に学び、将来は多くの人の内面を豊かにする助けをしたいと考えています。専門分野の知識を深めながら多様な学びの機会を与えられ、日々刺激を受けられる環境は本当に貴重なものだと思います。“人”やその営みに興味があるという人はぜひ、京大の教育学部をめざしてください。素敵な仲間と自由で充実した学生生活が待っていますから!!

知への誘い



教育学部
教育心理学系 4年生
澤田 和輝さん
奈良県 東大寺学園高等学校 出身

高校2年生の頃に心理学に興味をもち始め、京大のオープンキャンパスに行きました。そこでどのように研究が行われているかを少し知ることができ、あらためて「京大で心理学を学びたい」と思い、受験しました。今は教育心理学系に所属し、実験的手法を用いて道徳や社会規範に関する研究をしています。そんな今日までを振り返って思うのは、京大の教育学部は個々の要望に応じ、充実した学習・研究環境を提供してくれる素晴らしい場所だということ。受験勉強に行き詰ったら、興味のある学部や先生の本などを読み、京大でやりたいことを考えてみませんか。息抜きになるだけでなく、モチベーションアップにつながると思います。

教育学部

3学系の紹介

現代の教育が抱える複雑な課題を
多様な観点から解明していく

現代教育基礎学系

学校の在り方に関心がある人、カリキュラムや授業・評価の開発をめざす人、胎児期からの心の発達や障害に関心をもつ人、教育の問題を歴史的に研究したい人、教育を哲学的に深く考えたい人、そうした人たちが学ぶ学系です。

〈主な開講科目〉

●教育哲学・教育史学／何のために教育は必要か、どのような学校が望ましいか、教育が抱える多様な問題を哲学や歴史学の観点から分析します。学校教育制度や教育に対する考え方の歴史的な成立過程、時代による変遷などについても探究し、新たな学習や教育の姿を提示するための知識や方法論を身につけます。

●教育方法学・発達科学／カリキュラム・授業・評価に関する理論と実践の蓄積に学び、人間の心身の発達を文理融合領域の発達科学に基づいて解明、より適切で有効な教育方法を提案することをめざします。フィールドワークを重視する科目でもあります。

●教育人間学・臨床教育学／芸術、身体、言語など、人間学の多様なテーマについて、主として思想研究の手法から考察します。また、それらを通じて“ことば”に対する感受性を育て、フィールドに立って考える力を身につけます。



◆臨床教育学のディスカッション風景

心の仕組みと働きに関する
幅広い識見と柔軟な思考力を育む

教育心理学系

「教育心理学系」では、心の仕組みと働きに関する幅広い識見と柔軟な思考力を育成します。あわせて教育・認知心理学、臨床心理学を主とする充実したカリキュラムを組み、他学部等の心理学系教室・教員とも連携しながら活発な教育・研究活動に取り組みます。

〈主な開講科目〉

●教育・認知心理学／記憶、言語、推論、意思決定、知能、他者理解、共感、社会的認知といった高次認知過程の側面に関する主要な理論や知見を学びます。また、それらの発達の特徴や教授・学習法、動機づけ、メディアやコンピュータの活用など、教育活動と密に関わる心理学の諸側面の知識の習得と応用をめざします。あわせて心理実験・調査やデータ解析などの手法を身につけ、心理学の研究に取り組む基盤を得ていきます。

●臨床心理学／心に関する対人支援に向けた専門知識と技能を身につけることをめざし、自己理解を深めつつ、面接や遊戯などの心理療法、心理査定技法や調査の方法、描画や箱庭といったイメージ表現の理解法などを学びます。こうした専門知識と技能が卒業後、さまざまな仕事や社会行動で活かせるのはもちろん、大学院・修士課程での臨床心理士・公認心理師取得につながります。



◆教育心理学コロシアムIIの授業風景



卒業生からのメッセージ

好奇心の赴くままに

大学の受験期、学校での学習内容と予備校での受験勉強にギャップを覚え、京大の教育学部を選びました。入学後、そうした問題意識は多角的な講義を通じ、考察を深められたと思います。また、教育学部では他学部の専門科目も単位として認められていたため、好奇心の赴くまま、さまざまな分野の講義を受けました。さらに教育学部のゼミでは、興味をもった金融教育から卒業論文のテーマを選びました。当初、考え方はかなり偏っていましたが、ゼミでの活発な議論により、視野を広げられたと思います。これらを通じて養った、あらゆることに好奇心をもって興味・関心の幅を広げる姿勢は、どんな分野の仕事にも役立つと考えています。



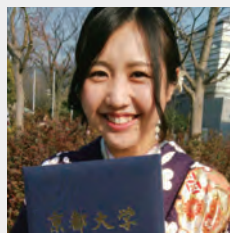
証券会社 勤務

山本 あかりさん

京都大学 教育学部 教育科学科
現代教育基礎学系 2017年3月卒業
兵庫県 啓明学院高等学校 出身

京大での9年間を振り返って

人と関わりたい、人のためになりたい、漠然と考えての京大入学でした。しかし教育学部で4年間、大学院で5年間、学んだ日々を振り返ると、入学時の漠然とした思いに向きあいながら、一生をかけて携わりたいと思えるものを見つけ、いく9年間だったと感じます。特に心理臨床の実践に携わり始めた大学院時代は、自分に負荷をかける苦しい時期でしたが、クライアントの痛みを理解していくために必須の過程だったと感じますし、自分自身が変化することのできた日々でした。真剣に打ち込めば、その分だけ学ぶことができる自由さと、自分を変えていける環境が京大にはあります。皆さんもぜひ、学びに来てください!!



京都大学 大学院 教育学研究科
臨床心理学講座 特定助教

鈴木 優佳さん

京都大学 大学院 教育学研究科
博士後期課程 2018年3月修了
京都大学 教育学部 2013年3月卒業
静岡県 磐田南高等学校 出身

教育と社会の結びつきを
次代に向けて創造的に探究する

関連教育システム論系

21世紀は学校だけが教育に関わるのではなく、社会全体が人間形成の場となり、そうした社会における教育の柔軟な在り方やネットワーク化が課題になっています。「関連教育システム論系」では、こうした考え方を視野に入れ、教育と社会の結びつきを創造的に探究することを目的に学習します。あわせて次代の社会と人間に求められる重要な課題を意識したカリキュラムを提供し、少人数制のゼミや講義をはじめとする特色ある指導を行います。

〈主な開講科目〉

- **教育社会学**／人間の社会形成に関わる集団の教育作用について研究すると共に、学歴社会や青少年問題、教育変動などの諸課題を社会学的な観点から考察する力を養います。
- **メディア文化学・図書館情報学**／世論を生み出す広範なメディア現象、また図書館を通じた情報の生成・流通・消費を分析することから、社会と文化を歴史的に読み解く研究を行います。
- **文化政策学・社会教育学**／広く人間とその社会が構築されてきた歴史を、多様な文化の取り扱いやその背景にある議論、学校教育を超えた学びのあり方を通じて考える視点を習得します。
- **比較教育学・教育政策学**／各国の教育制度、政策、実践、理論などを理解する国際的な視野と考え方を学ぶと共に、政策科学的な観点から教育の行財政制度と具体的な政策立案について学習します。

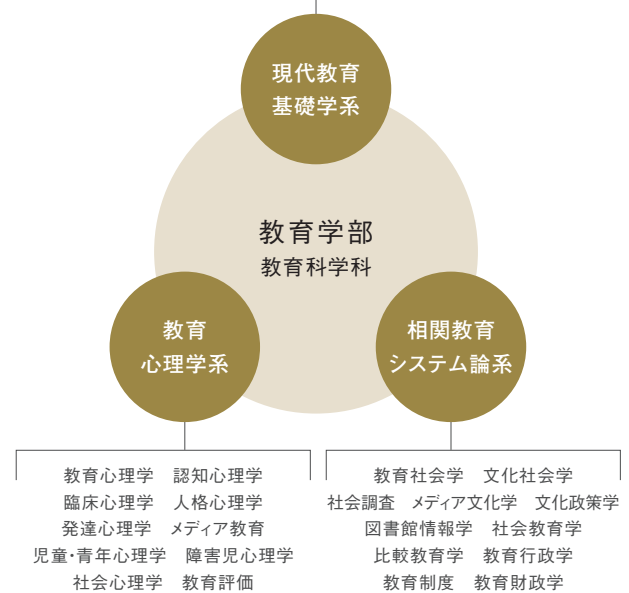


◆図書館概論の授業風景



Curriculum Tree

教育原論 教育人間学 教育史学 教育方法学 教育課程論
授業論 生徒指導論 発達教育論 発達科学 障害児教育論



教
育
学
部

Faculty of Education

卒業後の進路

◆ **概要**／例年3割ほどの学生が本学「教育学研究科」などの大学院に進学します。中学校や高校の教職に就く学生も少なくありませんが、文部科学省や法務省をはじめとする官公庁の他、マスコミや出版、金融・保険や各種メーカー、サービス業など、就職先は多岐にわたります。

◆ **就職先の例**／滋賀県公立高校教員 法務省 国土交通省 東京都庁 京都家庭裁判所調査官 日本放送協会(NHK) 予備校講師 三菱東京UFJ銀行 京都銀行 読売テレビ 野村証券 バンダイ 京セラ 河合塾 三井住友銀行 キリン 小学館 など

◆ **取得可能な資格**／【取得可能な資格について】本学部の修学期間内に教育職員免許法に定められた科目の必要単位を修得し所定の手続きをすれば、教育職員免許法の中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許状を取得することができます。また、中学校、高等学校の免許状を取得し、免許法に規定する特別支援教育領域に関する科目の単位を修得すれば、特別支援学校教諭一種免許状を取得することができます。本学で取得できる免許状は、聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者に関する教育の領域です。また、修学期間中に法律に定める科目の必要単位を修得すれば、それぞれ社会教育に関する指導・助言を与える社会教育主事、博物館の資料収集、保管展示及び調査研究などの仕事に携わる学芸員、図書館法に規定している図書館において図書に関する職務に携わる図書館司書の資格を取得することができます。さらに、教育職員免許状を有する者が図書館学に関する科目の必要単位を修得すれば、学校図書館司書教諭の資格を取得することができます。

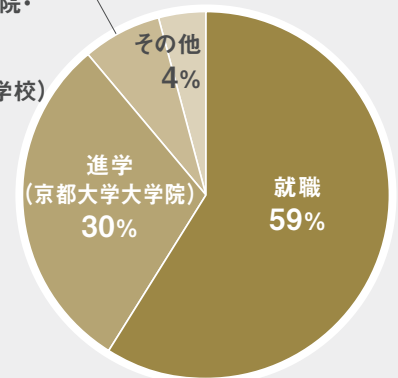
【公認心理師試験の受験資格について】公認心理師法に定める公認心理師の資格を得るためには、国が実施する公認心理師試験に合格する必要がありますが、本学部・研究科の修学期間内に、同試験への受験資格を得るために必要な科目を履修することができます。具体的には、文部科学省令・厚生労働省令に定められている科目を、大学(学部)及び大学院(研究科)においてそれぞれ履修し必要単位を修得する等により、受験資格を得ることができます。

〈取得可能な教育職員免許の種類と教科〉

中学校 一種／社会 高等学校 一種／地理歴史 公民
特別支援学校教諭 一種／聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者

2017年度卒業生の状況

進学
(他大学大学院・
外国の大学・
語学留学・
福祉系専門学校)
7%





法学部

FACULTY OF LAW

法学部が望む学生像

法学部では、世界・国家・社会のさまざまな問題に対する強い関心をもち、多方面にわたる学力、とりわけ社会科学に関する基礎的な学力を備え、論理的思考力に優れた学生を求めています。

京都大学の法学部とは

約38,000名の有為な人材を輩出

法学部は明治32年(1899年)に法科大学として創設され、今日まで約38,000名の有為な人材を社会に輩出してきました。また、創設期の教授陣は自由な学問研究を尊重し、東京帝国大学とは異なる大学の在り方を模索しました。

学生の自主的学修を奨励

創設当初、必修化された演習(ゼミ)は今も重視されています。それは学びの選択肢に自由な余地を限りなく広げ、学生の自主的学習を奨励するという伝統となり、今も脈々と受け継がれています。

法科大学院と公共政策大学院を設置

京都大学の法学部は戦後の経済・社会の急激な変容、文化・科学の著しい進展に対応し、講座数および教員数を拡充してきました。あわせて平成4年(1992年)から研究・教育の国際化・学際化・高度化に対応するため、これまで学部配置されていた講座を大学院に配置、大学院の教員が学部教育も担当しています。さらに平成16年(2004年)には法曹の養成を目的とした専門職大学院「法科大学院」を設置。平成18年(2006年)には経済学研究科と協力し、公共的な役割を担う高度専門職業人の養成を目的とした専門職大学院「公共政策大学院」を設置しました。

国家や社会を見直す大局観を養成

京都大学の法学部は国家や社会の在り方を見直すことに関わり、組織で指導的な役割を果たせる人材養成を目的としています。今日、世界も日本も大きな転換期を迎え、さまざまな問題を抱えています。こうした状況に向きあい、新しい制度を設計するためには、文化の多様性を尊重し、平和な社会の実現に貢献できる豊かな国際感覚を備え、法律や政治の仕組みに関する専門的な知識をもつと共に、社会全体を視野に入れ、知識を組み合わせる構想力や大局観を養わなければなりません。京都大学の法学部は、こうした能力を備えた人材を育成するために、豊かな教養と法律学・政治学の専門知を提供しています。



制度・組織の設計・運営を指導する 構想力を備えた人材を育成

京都大学 法学部の特色

視野を広げる教養科目の充実

「教養科目」は全学共通科目と法学部が提供する法学部基礎演習で構成されています。「全学共通科目」は人文・社会科学科目群、自然科学科目群、統合科学科目群、外国語科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群、少人数教育科目群、キャリア形成科目群で構成されています。これら全学共通科目は4年間、どの学年でも履修できるようになっていますが、法学部では専門科目が主となる3年次までに学び、英語をふくむ外国語の運用能力や豊かな教養を培いつつ、視野を広げるようにしています。

年次進行にあわせて増える専門科目

「専門科目」は内容に応じ、履修できる学年を定めています。まずは1年次、導入的な専門科目として、法学入門、政治学入門、家族と法などを履修します。2・3年次では法体系の全体像や基本の理解につながる憲法第一部・第二部、刑法第一部、民法第一部などの科目が配当されており、国際法第一部、刑法第二部、民法第二部などは4年次での履修も可能です。他の専門科目は3・4年次に配当されていますが、政治学関連科目と一定の基礎法関連科目についてはそれぞれ2科目に限り、2年次でも履修できるようになっています。



特別科目や演習で社会変化に呼应

社会の全体像や動きを捉えるには経済学の知識も必要であり、法学部では経済学部の一部科目が履修できるようになっています。また、毎年必ず開講される基本的な専門科目に加え、新たな法律・政治現象や企業の法実務などに呼应する特別科目も年度ごとに開講しています。さらに3・4年次に配当される演習(ゼミ)では、少人数クラスで周到な予習に基づく活発な討論が行われています。

自由度の高い科目選択と主体的学習

専門科目に「必修」設定がないのも京都大学・法学部の特色です。その主旨は「自身の将来は自身で設計する」という考え方にあり、自分がどのような科目を選択し、どのような学習計画を構築するか、すべて学生各自の主体性に任されています。

※堅実な学習を促すため、各学期(セメスター)に履修登録できる単位数には上限を設けています(キャップ制)。



在学生からのメッセージ

自由度の高い京大法学部が 私には最適でした



法学部 4年生
守本 萌さん
大阪府 北野高等学校 出身

ヨーロッパの移民政策を主に学んでいます。但し私自身、入学当初から学びたいことが明確に決まっていたわけではありませんでした。そんな私には、自由度の高い京大法学部のカリキュラムはとてどもあっていたと思います。大学での4年間、自分の興味の赴くままに学ぶことで、自分は何をしたいのか、何になりたいのか、これらを探っていきました。また、学内だけでなく、オランダでの1年間の交換留学や中国での短期留学など、大学の国際交流プログラムにも積極的に参加し、学外でも学ぶ機会を得ていきました。さまざまな学習経験を糧に、社会人になっても学び続けていきたいと思います。

中央省庁の一員となり この国を支えるのが目標



法学部 4年生
新海 一輝さん
大阪府 大阪教育大学附属
高等学校池田校舎 出身

京大の法学部をめざしたのは、政治や社会が抱える問題に関心があり、社会の仕組みを学びたいと考えたから。入学後は法律科目の講義を数多く履修する一方、ゼミは日本政治外交史を選び、近現代において日本が困難に直面した際、いかに対処したかという観点から先人の業績にふれました。こうした法律と歴史の双方を学ぶ過程から、自分もかつての先人のように日本が抱える課題を解決する一端を担い、課題解決のための新たなルールメイキングに携わりたいという思いが強まり、今は国家公務員をめざしています。皆さんも法律、政治、歴史、多様な分野を「自由の学風」のもとで学べる京大法学部にチャレンジしてください。

法学部

専門科目の紹介

法体系の全体像と基本を捉え
新たな制度設計や社会実践につなげる

専門科目

国家や社会の在り方を見直すことに関わり、組織において指導的な役割を果たせる人材養成を目的に、京都大学の法学部では次の専門科目を選択履修していきます。

- 法学領域／法理学 法社会学 日本法制史 西洋法制史 ローマ法 東洋法史 英米法概論 ドイツ法 フランス法 憲法第一部 憲法第二部 行政法第一部 行政法第二部 租税法 国際法第一部 国際法第二部 国際機構法 民法第一部 民法第二部 民法第三部 民法第四部 商法第一部 商法第二部 経済法 知的財産法 民事訴訟法 国際私法 国際取引法 労働法 社会保障法 刑法第一部 刑法第二部 刑事訴訟法 刑事学 法学入門Ⅰ 法学入門Ⅱ 家族と法
- 政治学領域／政治原論 政治過程論 比較政治学 アメリカ政治 国際政治学 国際政治経済分析 政治史 日本政治外交史 政治思想史 行政学 公共政策 政治学入門Ⅰ 政治学入門Ⅱ
- 外国文献研究／外国文献研究(英・独・仏)
- 特別講義／破産法 日本政治思想史 外交史
Introduction to European Law
Japanese Politics from a Comparative Perspective
International Criminal Law : An Introduction 現代社会と裁判
現代社会と弁護士 アセット・マネジメントの実務と法 生命保険の実務と法
金融法と銀行実務 信託法の理論と実務 国際企業取引の実務と法
- 経済関係科目／ミクロ経済学1 ミクロ経済学2 社会経済学1 社会経済学2 財政学 経済史1 経済史2 世界経済論 租税論 金融論 金融政策 経済政策論 経済統計学 会計学1 会計学2 経済学史 日本経済史 欧米経済史 社会政策論

徹底した少人数制により
活発な討論に取り組む

演習(ゼミ)

法学部の創設当初から重要視され続け、徹底した少人数制と周到な予習に基づき、活発な議論・討論に取り組む演習(ゼミ)は、以下のとおりです。

- 法学領域／法社会学 日本法制史 ローマ法 東洋法史 英米法 ドイツ法 憲法 行政法 租税法 国際法 国際機構法 民法 商法 経済法 知的財産法 民事訴訟法 国際取引法 労働法 国際私法 社会保障法 刑法 刑事訴訟法
- 政治学領域／政治原論 政治過程論 比較政治学 アメリカ政治 国際政治学 国際政治経済分析 政治史 日本政治外交史 政治思想史 行政学



卒業生からのメッセージ

より良い社会の実現に向けて
国の唯一の立法機関である国会で
議員立法の補佐をしています

高校生の頃、法律がもつ社会を動かす力に関心をもったのが、京大法学部への進学動機です。在学中、授業はもちろん、ゼミや法律サークルでの白熱した議論を通じ、多様な価値観や考え方にふれるとともに、知的好奇心と探究心を大いに刺激されたことを覚えています。卒業後は衆議院法制局に勤務、国の唯一の立法機関である国会において、議員立法の補佐をしています。「法」を創るという仕事は一筋縄ではいきませんが、やりがいも尽きません。今後も京大で学び培った、物事を多角的・多面的に捉える姿勢を忘れることなく、より良い社会の実現に向けて、貢献していきたいと考えています。



衆議院法制局

西上 健太郎さん

京都大学 法学部 2011年3月卒業
京都府 洛南高等学校 出身

講義やゼミを通じて法への関心が高まり
法学部の卒業後に進んだロースクールで
弁護士をめざして日々勉強しています

京大の法学部に入学した際、卒業後の進路について、特に考えていたわけではありません。しかし講義やゼミを通じて法律を学ぶおもしろさを知り、法曹界を志すようになりました。その結果、今は弁護士をめざし、ロースクールで日々勉強しています。思えば京大では、必ずしも答えのない問いについて納得いくまで深く掘り下げ、考える学習が可能でした。そして法学部では、そのような学習を支えてくださる教授の方々、ともに切磋琢磨できる志の高い個性豊かな同級生たちに恵まれました。今後もこうした出会いを大切に、目標に向かって成長していきたいと思っています。



京都大学 大学院 法学研究科
法曹養成専攻(法科大学院)1回生

大野 真梨子さん

京都大学 法学部 2018年3月卒業
兵庫県 神戸高等学校 出身

京都大学 法学部の4年間

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>●入学式</p> <p>京都大学全体の入学式終了後、歴史ある法経第四教室で厳かな雰囲気による法学部だけの入学式も行われます。</p> <p>●始業・履修登録</p> <p>ガイダンスや先輩のアドバイスなどを参考にしながら、自分自身の“時間割”をつくります。</p> <p>●クラス分け</p> <p>8つあるクラス分けが発表されます。1年次で主に学ぶ教養科目や以降の専門科目はすべて選択制ですが、語学の授業はクラス単位で受講します。</p> <p>●前期試験</p> <p>夏休み前の7月・8月、京大生として初めての定期試験が行われます。</p> <p>●11月祭</p> <p>クラスやクラブ・サークルで出展(出店)します。仲間との一体感が生まれる場でもあります。</p> <p>●後期試験</p> <p>春休み前の2月、後期試験が行われます。1年間の学びの成果が問われます。</p>	<p>●新入生歓迎会</p> <p>後輩を迎え、アドバイスをする立場に。学業、クラブ・サークル、アルバイト、多忙だけれど充実した毎日を過ごします。</p> <p>●専門科目の履修</p> <p>1年次では少なかった専門科目が増え、憲法や民法、刑法などの法学基礎科目に取り組みながら、リーガルマインドを養っていきます。</p> <p>●法学専門サークル</p> <p>法学部サークル連合(略称:法サ連)という法学・政治学に関するサークルに入学したり、課外で専門的な活動を行う学生も増えていきます。</p> <p>●演習(ゼミ)登録</p> <p>これまでの学びを通じて抱いた興味・関心に基づき、2年次後期に演習(ゼミ)登録を行います。</p> <p>●将来設計</p> <p>登録したゼミをふくめ、今後の専攻分野や将来の進路について、自身の適性や可能性を探っていきます。</p>	<p>●演習(ゼミ)</p> <p>法学部の創設当初から重要視されているゼミでの学びがスタート。授業時間に関わらず、議論・討論は尽きません。</p> <p>●海外留学</p> <p>視野を世界に広げることを目的に、交流協定を結ぶ海外諸大学への留学は、2・3年次が好機です。</p> <p>●進路選択</p> <p>この時期、インターンシップに取り組む学生も少なくありません。そうした経験に基づき、就職が法科大学院などへの進学か、進路を見定めるのもこの時期です。</p> <p>●進学準備</p> <p>法科大学院や公共政策大学院への進学を決めた学生は、試験準備を開始します。</p> <p>●就職活動準備</p> <p>就職を選ぶ学生は企業説明会への出席など、就職活動の準備を始めます。</p>	<p>●進路活動</p> <p>法科大学院や公務員を志望する学生は各試験に向けた勉強に、一般企業を志望する学生は就職活動に、それぞれ懸命に励みます。</p> <p>●法科大学院適性試験</p> <p>5月と6月に法科大学院の適性試験が行われます。</p> <p>●省庁まわり</p> <p>公務員採用試験を経て、合格者(1種)は東京の各省庁をまわり、所属への志望意志を固めます。</p> <p>●法科大学院合格発表</p> <p>合格はゴールではなく、法曹へのスタート地点。あらためて気を引き締め直し、学び続ける姿勢を保ちます。</p> <p>●最終試験</p> <p>大学院への進学、省庁への入庁、企業への就職、卒業後の雄飛に向けて、最後の試験で4年間の成果を示します。</p> <p>●卒業式</p> <p>充実した4年間を振り返りながら、仲間や恩師と今後の活躍、社会貢献を誓い合います。</p>

法
学
部

Faculty of Law

卒業後の進路

◆概要／国家・地方公務員、民間企業、法科大学院をふくむ大学院への進学など、進路は多岐にわたります。大学院に進学する約8割は、京都大学をはじめとする全国の法科大学院に進んでいます。また、京都大学公共政策大学院は例年、入学者の2〜3割が本学部の出身です。民間企業への就職先は金融・保険業が主流でしたが、この数年は業種・業界を問わず幅広くなっています。

◆就職先の例／国家・地方公務員 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

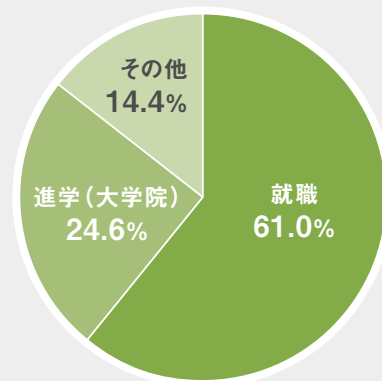
みずほフィナンシャルグループ 三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 りそな銀行
三井住友信託銀行 日本銀行 第一生命 日本生命 大和証券 野村證券 三井物産 丸紅
大阪ガス 関西電力 中国電力 東海旅客鉄道(JR東海) 西日本旅客鉄道(JR西日本)
阪急電鉄 日本郵船 読売新聞社 朝日新聞社 毎日新聞社 TBSテレビ 朝日放送
NTTドコモ 日立製作所 三菱電機 川崎重工 ヤマハ トヨタ自動車 キリン 資生堂
鹿島建設 大成建設 西日本高速道路 オリエンタルランド など

◆取得可能な資格／法学部では、教育職員免許状の取得を目的とした教職課程を設けています。また、法学部以外の学部が開講する所定の科目を修得することにより、その学部で取得できる資格(受験資格をふくむ)が得られます。

〈取得可能な教育職員免許の種類と教科〉

中学校一種／社会
高等学校一種／公民

2017年度卒業生の状況





経済学部

FACULTY OF ECONOMICS

経済経営学科

経済学部が望む学生像

京都大学・経済学部の教員たちは、経済学・経営学の教育は、社会で直ちに役立つ知識を与えるだけでなく、主は学問的な基盤と共に、柔軟な思考力と創造性を養わせることだと考えています。これを前提に、大学で自主的に学び、社会人になってからも経済活動を通じ、成長し続けようとする学生の入学を望んでいます。また、京都大学の経済学部はこれまで、産業・経営・学術・行政などの領域で活躍する人材を数多く輩出してきました。こうした伝統の継承をふまえて、そこに自分らしい発展を加える意欲をもつことも望む学生像に他なりません。

※なお経済学部は高等学校の文系教育課程に対応した一般学力検査による選抜(190名)だけでなく、理系の教育課程に対応した学力検査による選抜(25名)も行っており、平成28(2016)年度入試から「特色入試(25名)」を導入しています。これらは数学などに現れる理学的才能や総合的な学力と共に、長文読解力、問題発見力、論理的思考、柔軟な思考と創造性、高い自学自習の能力を経済学の発展に結びつけることを期待しての取り組みです。

京都大学の経済学部とは

伝統性と先端性の統合

法学部(法科大学)が創設した明治32(1899)年以来、京都大学では経済学関連の講義を行っています。この間、京都大学の経済学部は多数の著名な研究者をはじめ、個性的な実業界のリーダーや各方面で活躍する優れた人材を輩出し続けてきました。但し永年の歴史と伝統、実績を誇るだけでなく、先端分野での拡充も絶え間なく回り、平成18(2006)年には経済学部と大学院・経済学研究科を母体とするMBA取得コース、経営管理大学院を開設しています。

自学自習と少人数教育を重視

京都大学の「自由の学風」を実践する経済学部は、学生の自学自習・自発自啓を基本精神としています。そのため学部科目はすべて選択科目とし、必修科目は設定していません。また、経済学や経営学の専門科目だけでなく、隣接分野である法学・政治学の科目をふくむ幅広い分野から自主的に選択し、自由に学ぶことができるようになっています。あわせて大学院との共通科目や経験豊富な社会人講師による講義も開講、学生それぞれの志望や学術的関心にあわせた学びを提供しています。

演習による学生と教員の対話型学習

京都大学の経済学部は演習(ゼミ)による少人数の学生と教員の対話型学習を重視しています。また、ゼミでは問題の本質を捉えつつ、学生が相互学習と議論・討論を通じてコミュニケーション能力を高めるなど、人間的にも大きく成長していきます。

多様性と国際性の充実

京都大学の経済学部は留学生入試、外国学校出身者入試、3年次編入学入試、特色入試など、多様な入試制度を他の国立大に先んじて導入してきました。その狙いは多様な経験と個性をもつ学生が刺激しあいながら切磋琢磨し、豊かな教養と人間性、国際感覚を身につけることにあります。なお留学生の比率は学内で最も高く、国際性にも溢れています。



未来を切り拓く柔軟な思考力と 豊かな創造力を培う

京都大学 経済学部の特徴

厳しい局面を打破する判断力の獲得

京都大学の経済学部は「自学自習」を学びの大原則とし、自分で問題を見つけ、自分で解決策を見つける能力を獲得していきます。また、そうした学びの基本原則は「学問の自由」です。自由であるから多様な思考は生まれ、科学は進歩し、社会の求めに応えられるのです。但し学問を自由に自学自習するには基礎という土台が不可欠です。こうした考え方にに基づき、京都大学で学ぶ経済学・経営学は、社会のどのような場に立っても迷うことなく判断する力の源泉となります。

経済学と経営学を横断する4コース

京都大学の経済学部では経済学と経営学の関連性を重視、経済経営学科の1学科制を採用しています。あわせて理論・歴史コース、政策コース、マネジメントコース、ファイナンス・会計コース、4つのコースを設置しています。学生は各コースが推奨する専門科目を履修することで、それぞれの特性に応じた専門知識が得られるようになっています。



1年次で専門学習の基盤を固める

入学当初2年間は教養教育を軸に、語学をふくむ「全学共通科目」を主に履修します。これと並行し、1年次では自立した学習力を身につけるための「入門演習」の他、経済学・経営学の専門学習の基盤を固める9つの入門科目、ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、社会経済学入門、基礎統計学、経済学・思想史入門、現代経済事情、経営学入門、会計学入門、情報処理入門を学びます(次ページ参照)。

専門性を究める2・3年次

2年次では専門基礎科目と専門科目(I)の授業群から、3年次では専門科目(II)の授業群から、自身の将来設計に基づき選択履修していきます。また、3年次からは経済学・経営学の専門科目だけでなく、法学部が提供する法学や政治学の科目も履修でき、さらに高度な学びを求める学生は大学院との共通科目を履修します。



在学生からのメッセージ

ぜひ経済学部へ



経済学部 2年生
都 公さん
東京都 成蹊高等学校 出身

皆さんは「学ぶ」ということをどのように考えていますか？成績を上げるために勉強する、進学のために学ぶという人も多いかもしれませんが。特に受験生なら、なんとかして1点でも多く稼ごうと考え、勉強していることでしょう。実際、僕もその1人でした。しかし、勉強の本質は、そこにはありません。僕は今、なぜ勉強するのかという問いに「たくさんのことを学べば見える世界が変わり、人生が豊かになるから」と答えます。しかも京大の経済学部には「自由の学風」が基盤にあり、個人を尊重しながら多くのことが学べ、興味を湧かせてくれる授業もたくさんあります。皆さんが今、見ている景色を変えてくれるような学び、ここなら出会えると思います!!

自由の学風が体现されている経済学部は 機会を自ら見つけて成長できる場所



経済学部 3年生
志水 都さん
神奈川県 横須賀高等学校 出身

学科がわかれておらず、興味のある経済学と経営学、どちらの分野も学べることに惹かれ、京大の経済学部に入學しました。実際、授業は経済系と経営系、どちらも面白そうと思った科目を幅広く受講しており、経営戦略については2年次に始まったゼミで専門的に学んでいます。ゼミでは個人の発表、グループ研究、他大学との合同ゼミなどを通じ、仲間や教授と議論しながら考える力が鍛えられます。毎回、自分では気づかなかった視点の意見を聞けたり、自分の意見を伝える練習になったり、成長できていると感じています。学びたいことを自由に選べる経済学部は多様な学生が集まり、最高に楽しい学生生活を送れる学部です。

経済学部

学びの紹介

経済学と経営学を横断して学ぶために
双方の基礎と土台を固める

9つの入門科目

京都大学の経済学部は、かつての経済学科と経営学科を統合した経済経営学科の1学科制であり、社会で密に関連しあう両学問を横断して学びます。但し、それには経済学と経営学、双方の基礎を固める必要があり、1年次に9つの入門科目を学びます(以下は各科目の学問概説)。



〈ミクロ経済学〉

「ミクロ経済学」は市場のメカニズムに基づき、経済行動を分析する学問です。ミクロ経済学の起源は19世紀から20世紀にかけて登場した最大化原理を基礎におく完全競争モデルです。しかし現代経済は巨大企業の寡占化の様相が強く、完全競争モデルの虚構性が指摘されています。

そこで登場したのが、将棋などに例えて意思を戦略的に決定していく「ゲーム理論」です。現代ミクロ経済学は、このゲーム理論を中心に据えることで、医療・福祉経済学、マーケティング経済学、情報・通信経済学、都市・交通経済学、企業・組織経済学、環境経済学など、最先端をいく応用経済学の基礎ツールとなっています。

〈マクロ経済学〉

「マクロ経済学」は経済活動を大きな視点から分析する経済学の1分野です。その大きな視点とは、分析対象が特定の個人、企業、産業の経済活動ではなく、国家経済や世界経済を見通すことを意味しています。そこで課題となるのは、なぜ経済は好況と不況を繰り返すのか、政府は景気の変動を抑制するためにどのような政策を採れば良いのか、なぜ先進国は産業構造の転換を果たし所得の増大を達成できたのか、それに対し多くの発展途上国が農業中心の経済構造から脱却できず低所得の状態にあるのはなぜなのか、等々の疑問です。マクロ経済学が取り組むのは、これらの疑問に正確な答えを与えることに他なりません。

〈社会経済学〉

「社会経済学」はスミス、リカード、マルクスなど、古典派と呼ばれる人たちの理論の総称でした。彼等は経済分野だけでなく、政治や文化などの分野にも広がる社会的視座をもつと共に、数世紀におよぶ歴史を考察する長期的視野をもっていました。しかし20世紀に入ると大量生産技術の成立といった技術面の変化、巨大企業の出現といった組織面の変化により、古典派経済理論の有効性は低下しました。こうした資本主義の変化をふまえ、新たな理論を創出したのがケインズとカレツキです。現代の社会経済学は、古典派経済学者たちの社会的歴史的視点とケインズおよびカレツキの理論を結合し、現代資本主義の構造や制度を分析していきます。

〈経営学〉

「経営学」は幅広く、経営現象を研究する学問です。「経営」とはある目的を達成しようとする事業について、それを計画・指揮・管理する活動です。その対象は従来、民間企業が中心でしたが、近年は病院や政府、地方自治体やNPOなど、経営の質が問われる社会的事業体にも広がっています。また、企業においても自社の利潤追求だけでなく、ステークホルダーと呼ばれる多くの人々に利益をもたらすことが求められ、その経営システムは複雑化する一方で、その最適解を研究する経営学の理論体系も複雑化しています。このように実践の場でも、理論研究の場でも、難問・難題が山積していますが、そこに「経営する」醍醐味があるのも事実です。

卒業生からのメッセージ

唯一無二の場所

「京都大学は京都にあるから京都大学なんだ」と聞いたことがあります。都だった千年の歴史の中で、さまざまな歴史をつくり、美しい文化を生み、私たち日本人の基礎を育んだ京都は、目に見えない大きな地場の力をもっています。そんな京都にある京大の経済学部で学ぶマーケットの価値観、京都がもっている哲学的・文化的な価値観は対極的ですが、両方を学べるここは唯一無二の場所です。実際、京都の四季を感じながら、自由でユニークで独立独歩の先輩・後輩・同級生・先生と語りあって得た考え方や価値観は今、地域振興、観光、交通、インフラといった“国づくり”の仕事をする私の大きな柱になっています。自分の可能性を切り開き、幹となる価値観を身につける唯一無二の時間、経済学部で過ごすことができますよ。



国土交通省

三重野 真代さん

京都大学 経済学部 経済経営学科 2003年3月卒業
大分県 大分上野丘高等学校 出身

Enjoy !!

私は現在、総合商社で働いています。グローバルな社会貢献を目指す業務は多岐にわたり、非常に刺激がある一方、未知の領域に日々挑戦する必要があります。私自身、ペットや畜産動物の健康を通じて人々への癒しや食の安全の提供を目指す事業を担当していますが、学生時代には想像もしていなかった分野です。しかし、どんな時でもベースとなっているのは、間違いなく経済学部時代の経験です。勉学のみならず、先生、友人から人として多くの刺激を受けました。経済学部の自由な学風においては、何をすることも自分次第だと思います。特定分野を追求するもよし、広範な知識の習得に努めるもよし。学生時代だけでなく、将来に繋がる大きな一歩になるでしょう。Enjoy your life !!



住友商事株式会社

藤井 翔さん

京都大学 経済学部 経済経営学科 2009年3月卒業
兵庫県 甲陽学院高等学校 出身

〈会計学〉

「会計学」は「事業の言語」と呼ばれる会計を対象に発達した学問です。また、会計学は事業体の現象を正確に理解すると共に、望ましい会計について考える学問でもあります。

こうした会計は、社会会計・国民経済計算などの「マクロ会計」、家計・企業会計・非営利法人会計・公会計などの「ミクロ会計」、2つに大別されます。

さらに会計情報の利用者ごと、企業外部の株主や債権者などに対する「財務会計」、経営者などのための「管理会計」、2つに分類されており、それぞれに対応するため、財務会計学と管理会計学、2つの学問分野が発達しています。

〈情報処理〉

「情報処理」は人間の意思決定活動であり、社会活動そのものです。また、インターネットやコンピュータなどの情報通信技術は、そうした活動を支える必要不可欠なツールです。さらに情報通信技術の急速な発展は社会を大きく変え、情報通信技術がなくては(知らなくては)企業の経営は成り立ちません。授業としての「情報処理」は経済学や経営学を学び、理解・分析するためだけに学ぶものではありません。コンピュータシミュレーションによって社会や組織を解析したり、あるいは未来を予測したり、経済学や経営学の根幹を見つめながら、通信をふくむ情報処理技術を習得していきます。

〈基礎統計学〉

統計学はかつて、国家為政者へ行政に必要な資料を提供するためにあり、その目的は人口、所得、耕地面積等の数値を収集・整理し、国力を測ることでした。但し現在はデータの幅も広くなり、行政はもとより商業、あるいは株式や為替といった投資の判断材料になるなど、さまざまな場で応用されています。これらをふまえ、「基礎統計学」の授業では、記述統計学と数理統計学によって成り立つ2領域を主に学びます。

記述統計学では物価指数など、実務で使用することの多いツールを学習します。

数理統計学ではデータに関する多様な推定、仮説に関する検証を数学的に学びます。

〈現代経済事情〉

人間の社会を扱う以上、経済学は経済的・社会的問題の解決という目的意識を常にもつべきであり、その概念は「政策関心」と言い換えられます。「現代経済事情」で講義する経済政策論、財政学、金融論、社会政策論、世界経済論、公共経済学などには「現代の社会問題や経済問題を素材に考える」という共通項があります。また、経済問題に対しては通常、さまざまなアプローチがあり、複雑な社会現象そのものを理解するには、総合的・多面的な分析視角が必要です。「現代経済事情」の諸講義に共通する狙いは、現実の経済問題などへの感受性と複眼的な視点を養うことにあります。

〈経済史・思想史〉

「温故知新」という言葉を知っていますか？そこには昔のことから新しいことを知るという意味があり、「経済史・思想史」はその意図をもつ学問です。また、経済史と思想史、ふたつの分野を並行して学ぶ意味は、現在の経済社会を歴史的に眺めることにあり、経済や社会に関する「忘れ去られた課題」を再発見し、あわせて「新しい課題」や「経済学のあり方」を構想していきます。例えば、ある国が経済大国になる過程の分析からその秘訣や条件と問題点を学んだり、ある企業の発展・没落から経営とは何かを考えてみたり、人間が集団形成するときの諸問題を把握することで理想社会について提言したり、そうしたことに取り組みながら歴史的な発想法を身につけ、当然と思っていた日常から「新たな可能性」を発見する視座を養います。



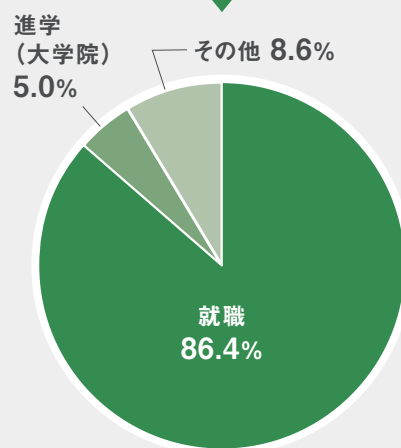
卒業後の進路

◆概要／京都大学の経済学部は、学会のリーダーとなる多数の優れた研究者をはじめ、世界・実業界のトップリーダーも数多く輩出してきました。なお近年の大学院進学者は1割前後であり、9割前後が就職します。就職先としては、金融庁や外務省、会計検査院、総務省、日本銀行などの官公庁の他、金融・保険・証券業が主流でしたが、この数年は業種・業界を問わず幅広くなっています。

◆就職先の例／みずほフィナンシャルグループ 三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 ゆうちょ銀行 農林中央金庫 京都銀行 三井住友信託銀行 伊藤忠商事 三井物産 三菱商事 野村證券 みずほ証券 J.P.モルガン証券 ソフトバンク 日本生命保険 日立製作所 トヨタ自動車 パナソニック 監査法人トーマツ 監査法人有限責任あずさ 新日本有限責任監査法人 アクセンチュア 大阪ガス 日本放送協会 日本航空 経済産業省 各府県庁・市役所 など



2017年度卒業生の状況





理学部

FACULTY OF SCIENCE

理学科

理学部が理想とする学生像

- 自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢をもつ人。
- 高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人。

京都大学の理学部とは

自然の“秘密”を解くことを愉しむ学部

自然はどのようにになっているのか、なぜ自然はそうのように成り立っているのか、自然を動かす法則は何なのか、私たち人間は常々このような疑問を抱きます。京都大学の理学部は、誰も答えを教えてくれない自然への疑問をもつ人たちが集まり、自然の声に耳を傾けながら疑問を解いていくと共に、どこまでも深い自然の“秘密”を探り続けることを愉しむ学部です。

従来との枠組みにとらわれない人材を育成

京都大学の理学部は理学科のみの1学科制です。この制度の意図は、分野・領域が多岐にわたる理学を学ぶ過程で発見した自身の適性に応じた専門選択を可能にするためであり、あわせてそうした自由性により、従来の学問分野の枠組みにとらわれない人材を育成することも狙っています。

教育の基本方針は個々の意欲の尊重

京都大学の理学部では3年次から5学系のいずれかに選択分属、少人数でのゼミや実験・実習などの研究活動を通じ、専門知を獲得していきます。その間、最も大切なのは自ら学ぶ意欲に他なく、その尊重と伸長を教育の基本方針としています。

数多くの独創的な研究者を輩出

京都大学の理学部はノーベル賞やフィールズ賞など、国際的トップレベルの賞の受賞者をふくめ、これまで数多くの著名かつ独創的な研究者を輩出してきました。あわせて、自ら開拓した新たな研究分野に挑み続ける“革新”の伝統は今も息づいています。こうした学問の創造や開拓は、研究・教育への自由性が育んだ結果です。現在、計画・遂行されている新たな研究プロジェクトも数多く、学生の教育にフィードバックされる先端知も決して少なくありません。



自然への疑問に向きあいながら 自然の理(ことわり)を学ぶ

京都大学 理学部の特色

明確な目標に基づく創造性の養成

京都大学の理学部は、学生を次代の自然科学を担う人材に育むことをめざし、2つの具体的な教育目標を掲げています。

- ①自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力を養成する。
- ②個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力を養成する。

この教育目標に基づき、自由な雰囲気による学問創造と自律学習を促しながら、理学科のみの1学科制ならではの“緩やかな専門化”を経て、研究の最前線に向かっていきます。



当初2年間で教養と専門性の基礎を培う

京都大学の理学部では1年次から2年次にかけて、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に学び、あわせて学部「専門基礎科目」を履修していきます。「全学共通科目」は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少数教育科目群、計8科目群に分類されています(自然科学科目群には理学部教員が担当する科目も多数です)。学部「専門基礎科目」は3年次から所属する学系での専門的な学びや研究の土台になります。こうした2年間により、高度な専門分野を学ぶための基礎を養うと共に、幅広い学問にふれることで豊かな教養を身につけ、人としての視野を広げていきます。

自然科学の先端知を獲得する5学系

2年次の終わりに選択・登録し、3年次から所属する5学系は、それぞれ概ね次のような専門分野と対応しています。また、各学系では演習(ゼミ)や実験・実習をふくむ専門科目を履修、京都大学の理学部が蓄積してきた先端知の獲得をめざして学びます。

- 数理科学系 / 数学 ●物理科学系 / 物理学・宇宙物理学
- 地球惑星科学系 / 地球物理学・地質学・鉱物学 ●化学系 / 化学
- 生物科学系 / 動物学・植物学・生物物理学

※各学系の詳細は次ページ参照

卒業研究に取り組む4年次

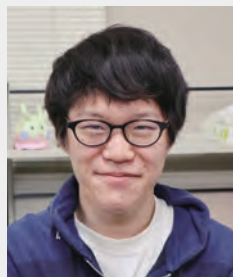
4年次の卒業研究は必修となっており、数理科学系では数学講究に、他の4学系では課題研究に取り組みます。その際、学生は担当教員から個別に指導を受け、研究手法を身につけながら課題を追究し、その結果をまとめる能力を養っていきます。これらを通じ、より高度な専門研究への意欲を高めることも期待されています。

学部3年次の修了による大学院進学

理学部と接続する大学院「理学研究科」の数学・数理解析専攻と化学専攻では、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績で修得したと理学研究科が認めた者には、大学院修士課程の出願を認めています。また、博士後期課程で特に優れた研究成果を挙げた者については、修士課程と通算5年未満の在学中で博士の学位が授与されることがあります。

在学生からのメッセージ

良い刺激を受けながら
成長していける最高の環境が
京大の理学部にあります



理学部 生物科学系
植物学専攻 4年生
村上 知暉さん
兵庫県 甲陽学院高等学校 出身

入学後、専門分野の選択で自由度が高いことが京大理学部の魅力です。実際、1・2回生の間はとれる授業の自由度が高く、高校の頃は考えてもみなかった分野に興味をもつことがあります。私の場合、入学時は動物に興味をもっていたのですが、いろんな授業や実習を経て「動かない植物はどのようにして外敵から身を守っているのだろう」という疑問をもち、植物に興味が湧きました。その結果、4回生では植物の分子機構を探る研究室を選びました。今後も自分の疑問を突き詰め、実用化できる技術を開発できたらな、と思っています。京大の中でも飛び抜けて個性豊かな仲間に出会い、良い刺激を受けながら成長できる最高の環境が理学部には整っています!!

新たな概念や複雑な論理を
理解するのは困難で時間も要しますが
頭の中でつなぐと爽快です



理学部 数理科学系 4年生
片田 舞さん
大阪府 大阪教育大学附属
高等学校池田校舎 出身

私が京大の理学部を選んだのは、京大への憧れに加え、高校生のときに数学と物理に魅力を感じ、より深く学びたいと思ったから。それで1回生の頃は幅広くいろんな教科の授業を受け、数学の厳密さや難しさ、面白さに惹かれ、数学系に進むことを決めました。3回生では代数、幾何、解析の授業を受け、4回生になった今は講義で代数トポロジーの本を読んでいます。新たな概念や複雑な論理を理解するのは困難で時間も必要ですが、頭の中でつなぐと爽快感が得られ「数学をやっている良かった」と思うことも少なくありません。また、周囲には自分より先々の勉強をしている仲間が多く、叱咤激励されるのも京大に進んで良かったと思う理由のひとつです。

理学部

5学系の紹介

高等数学の基礎を学びつつ
最新の数学理論も探究していく

数理学系

数学は、数、図形、数量の変化などの背後にある法則の解明をめざす学問であり、永年におよぶ時間をかけて、確固とした体系を築いてきました。その一方、現在でも多くの新しい問題が数学の内部から、あるいは物理学、地球惑星科学、化学、生物科学などの他科学から続々と生じ、それらを解明するための新たな理論が創出されています。また、普遍的な性質をもつ数学は、自然科学はもちろん、情報科学や経済学など、多くの分野とも密につながっています。これらを背景に「数理学系」では、20世紀前半までに確立した代数学、幾何学、解析学の基礎を広く学習すると共に、最新の数学理論も探究していきます。

●主な学習対象／数論 代数幾何学 代数的位相幾何学 微分位相幾何学 微分幾何学 力学系 複素多様体論 複素関数論 表現論 関数解析 微分方程式論 確率論 代数解析学・数理物理学 作用素環論 計算機科学 応用数学 保険数学



◆数理学系の講義風景

理論・実験・観測を並行しながら
幅広い研究と教育を行う

物理科学系

物理学は自然界の普遍的な法則を明らかにし、物質の種類や時間・空間・エネルギーのスケールのちがいによって生じる多様な現象を統一理解することをめざしています。これを前提に「物理科学系」は3教室に分かれています。第1教室では主に物質の構造と性質について、第2教室では時空の基本構造から素粒子・原子核・重力・宇宙論までについて、宇宙物理学教室では太陽から最遠方銀河まで宇宙の多様なスケールの諸現象について、それぞれ理論、実験、観測等を並行しながら幅広い研究と教育を行っています。

●主な学習対象／不規則系物理学 量子光学・レーザー分光学 低温物理学 光物性 固体量子物性 量子凝縮物性 時空間・生命物理 ソフトマター物理 非線形動力学 凝縮系理論 相転移動力学 流体物理学 非平衡物理学 原子核・ハドロン物理学 素粒子物理学 宇宙線物理学 素粒子論 原子核理論 天体核物理学 太陽物理学 太陽・宇宙プラズマ物理学 恒星物理学 銀河物理学 理論宇宙物理学



◆物理科学系のゼミ風景

身近な疑問だけれど深遠で遙かな
事象の教育・研究に取り組む

地球惑星科学系

「地球惑星科学系」は私たちが生活する地球、その地球を取り巻く惑星間の空間、これらを研究対象としています。さらにターゲットも幅広く、雲の動きを引き起こす大気の流れ、日本の前に広がる太平洋の奥深くにある静かな流れ、地震を起し火山を造る地球内部の変動、オーロラと関係している太陽から届く粒子と地球磁場、ヒマラヤをつくり南米とアフリカを引き裂いたマンツルの流れ、ダイヤモンドを造り出した高温・高圧の世界、35億年前“らん藻”として存在した生物はいかなる変遷を経て今の現存生物になったのか、他の惑星には生物は存在したのか(するの)などであり、誰もが抱く身近な疑問だけれど深遠で遙かな事象に関する教育・研究に取り組みます。

●主な学習対象／固体地球物理学 水圏地球物理学 大気圏物理学 太陽惑星系電磁気学 地球テクトニクス 岩石学 鉱物学 地層学 地史学 宇宙地球化学



◆課題演習(3年次)で訪れた阿蘇山中岳第1火口での湯だまり観測

卒業生からのメッセージ

京大の理学部で自分にとって
本当に学びたいものは何なのか
積極的に探してみませんか

京大理学部の大きな特徴は、専門を2回生の終わりに決めることです。これは自分が本当に興味あること、やりたいことを見定める期間が約2年、用意されているということ。私自身、さまざまな講義を受けることで、天文学こそ自分の進むべき道だと気づきました。そして今は大学院の博士後期課程で宇宙物理学を専攻し、銀河の形成と進化の観測的研究に励んでいます。学部で2年間かけ、選んだ専門分野ということもあり、日々充実した研究生生活が過ごせています。実際、高校生の頃に抱いた興味は入学後、大きく変わるものです。幅広い講義を自由に選択できる京大の理学部で自分が本当に学びたいものは何なのか、積極的に探してみませんか。



京都大学 大学院 理学研究科
物理学・宇宙物理学専攻
宇宙物理学・天文学分野 博士後期課程1回生

前田 郁弥さん

京都大学 大学院 理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻
宇宙物理学・天文学分野 修士課程 2018年3月修了
京都大学 理学部 理学科 2016年3月卒業
熊本県 済々黌高等学校 出身

新しい知識を得て
柔軟に対応していく仕事に
京大での経験が活かしています

京大の理学部に入って最も良かったと感じたこと、それは「やってみよう!!」と思ったことに対し、友人や先生方のサポートが得られやすい環境があることだと思います。私自身、周囲の人たちのおかげで地球科学に関する知識を幅広く得ることができたのはもちろん、研究を通じ、どのような筋道を追って物事を進めるかという論理的思考を身につけることができました。現在、私は海外の機関と気象庁内の各部署の間に入って連絡・調整する仕事をしています。京大で専門にしてきた地震の分野とは異なりますが、貪欲に新しい知識を得ながら柔軟に対応していく必要があることを考えると、在学中の経験が活きていると日々感じています。



気象庁 総務部 企画課 国際室

田中 美穂さん

京都大学 大学院 理学研究科 地球惑星科学専攻
修士課程 2015年3月修了
京都大学 理学部 理学科 2013年3月卒業
大阪府 大阪桐蔭高等学校 出身

自然界の理解をベースに
有用な新物質の創造をめざす

化学系

化学は原子・分子のレベルで物質の構造、性質、反応の本質を明らかにし、それに基づいて自然を理解しながら、有用な新物質の創造をめざす学問です。この「化学系」では原子、分子、生命から宇宙まで、自然界に存在するあらゆる物質を研究対象にしています。知的探求の場としては広大なフロンティアがあり、研究方法やスタイルも合成・分析・測定などの実験が主の分野から、理論と計算が主の分野まで、テーマ等によって大きく異なります。このように研究の対象や方法のバラエティが豊かなのも化学の大きな特徴であり、学生は個々の興味・関心や将来の目標にあわせ、自身に最適な研究分野を選ぶことができます。

●主な学習対象／固体物性化学 生物構造化学 量子化学 理論化学 物理化学 分子分光化学 光物理化学 分子構造化学 電子スピン化学 表面化学 金相化学 無機物質化学 有機化学 有機合成化学 集合有機分子機能 生物化学 分子性材料 遺伝子動態学



◆化学系の実験風景

多様なアプローチと方法論を駆使し
生物と環境を統合的に理解する

生物科学系

「生物科学系」の研究対象は、地球の多様な生物の存在様式や生命現象です。マクロ的な視点からは生態学や行動学、系統分類学、人類学、自然史、野外研究などに重点をおいた研究を展開、生物の進化や多様性の機構を明らかにしていきます。一方、さまざまな生物のゲノムが解読された今、ライフサイエンスはポストゲノム時代に入り、新しい研究の方向性が求められています。ミクロ的な視点からは動物や植物の細胞生物学、発生学、分子生物学、構造生物学の独創的な研究により、多彩な生命現象を分子レベルで解明していきます。このようにミクロ・マクロの両視点から多様な方法論を駆使し、生物を環境と合わせて統合的に理解することをめざします。

●主な学習対象／自然人類学 人類進化論 動物系統学 動物行動学 動物生態学 動物発生学 環境応答遺伝子科学 植物生理学 形態統御学 植物系統分類学 植物分子細胞生物学 植物分子遺伝学 ゲノム情報発現学 理論生物物理学 分子生体情報学 神経生物学 構造生理学 分子発生学



◆専門学習風景



Topics

数理科学系では 保険・年金等の分野で活躍する アクチュアリーもめざせます

アクチュアリーサイエンス(保険数学)とは、保険や年金などにおける将来のリスクや不確実性を分析・評価する方法を、数理的手法を用いて研究する学問分野です。数理科学系では日本アクチュアリー会と連携し、企業で指導的な立場にいる実務経験豊富なアクチュアリー5名を客員教授に招聘。学生は保険数学に関する講義・演習を通じ、アクチュアリー試験に向けた基礎知識を修得することができます。

卒業後の進路

◆概要／理学部では例年8割ほどの学生が本学「理学研究科」などの大学院に進学します。あわせて例年100名ほどが博士(理学)の学位を取得します。民間企業に就職するのは例年1割ほどですが、その多くが専門性を活かし、研究開発・技術職に就いています。

◆就職先の例／ダイキン工業 システムスタディ RPAテクノロジーズ 三菱重工業 ウェザーニューズ インテグレーションテクノロジー 日本システム技術 yodayoda ヴィルウェイ 京都府警 コープこうべ 智辯学園 シャープ 識学 パナソニックインフォメーションシステムズ 富士ゼロックス ティエルバイ PwCコンサルティング みずほフィナンシャルグループ 広島県内学校 伊藤忠商事 DMM.com OVERRIDE 一宮北高校 栄光 積水フーラー ソニー生命保険 淳心学院 NSソリューションズ関西 TIS 大阪府立高校 大阪エヌデーエス 豊和銀行 アウトソーシングテクノロジー 日本総合研究所 アース環境サービス ヴァンテージマネジメント 船井総合研究所 兵庫県中学校教諭 三井住友銀行 USEN など

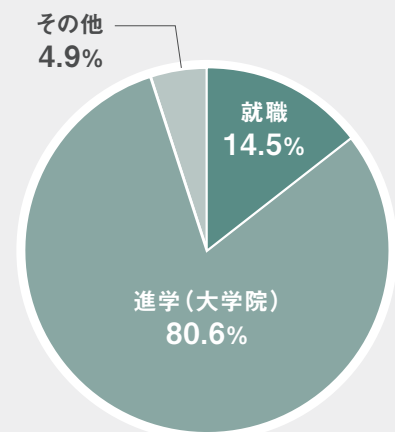
◆取得可能な資格／理学部は教育職員免許状の高等学校教諭一種免許状(数学・理科)と中学校教諭一種免許状(数学・理科)の課程認定を受けています。また、所定科目の修得により学芸員の資格も取得できます。なお数理科学系、物理科学系、地球惑星科学系は測量法施行令第14条第1項が規定する「相当する学科」として認定されており、所定科目の修得により測量士補の資格を取得することが可能です。

〈取得可能な教育職員免許の種類と教科〉

中学校 一種／数学 理科

高等学校 一種／数学 理科

2017年度卒業生の状況





医学部 医学科

FACULTY OF MEDICINE

京都大学医学部医学科 理念と目標

京都大学医学部は、医療の第一線で活躍する優秀な臨床医、医療専門職とともに、次世代の医学を担う医学研究者、教育者の養成をその責務としています。

京都大学医学部が育てるのは、単に既存の知識を応用して医療にあたるだけでなく、病気など医学事象の背後にあるものを見抜き、自分の頭で考え、新たな知を創出できる人間、また、広く社会と人間行動を理解し病める人の感情を洞察できる人間、社会全体の健康をめざし高い倫理観を持って行動する人間です。

また、これを人類すべてに発信できる国際性豊かな人間を育てることも我々の使命です。

医学部が望む学生像

京都大学医学部は21世紀の医学・医療の発展を担い、人類の福祉に貢献することを自らの使命と考え、この理想を追求する学生を求めています。医学には大きく分けて、基礎医学および臨床医学の研究に携わる分野、多様な疾患に悩む患者の医療に携わる分野、さらに環境・福祉・予防など、広く地球的な視点から人々の健康増進に関わる社会医学分野があります。

医学は生命科学の中心的分野の一つです。医学研究は生命の不思議を解き明かし、その結果知り得た生命の営みの原理に基づき、なぜ病気が起こるかを解明しようとするものです。さらにこの病因解明に基づき、新たな診断法や治療法、およびその予防法の開発に努力を傾けます。このような医学研究の遂行には、真理を追求するための強い好奇心と未知への挑戦心、不屈の精神と忍耐力などが必要です。

医療の原点は「人を愛する」ことにあります。それ故、医療に携わる者には、感性豊かな人間性や人間そのものに対する共感と深い洞察力、および人々の健康を増進し、病める者を救おうという強い意志と情熱が必要です。また現代の医療は多様な職種との専門家との連帯あるいは共同作業を要することから、医師には円滑に医療を遂行するための指導力と大きな包容力、ならびに厳しい倫理観が求められます。さらに、医療の進歩と発展に寄与するためには、強い向上心と探求心を持ち続けることのできる人材が求められます。

社会医学は、単に一人ひとりの患者ではなく、我が国あるいは世界の大きな集団を対象として、人々の健康増進を追求する分野です。さらに、このような問題解決のために行政的、あるいは啓発的活動も行う必要があります。このような社会的な要因による医学的問題解決のためには、秀でた社会性と優れた行政的活動能力、および幅広い国際性が要求されます。したがって、この分野では広い視野を持ち、人間社会全体に目を向ける感性、柔軟な思考力と豊かな人間性を持つ人材が望まれます。

京都大学は学生の自主性、自己啓発を教育の主眼として、個性豊かな創造性の涵養を目指しているため、自ら学習課題を発掘し解決しようとする主体性を持った人材を求めています。さらに、京都大学医学部は、多様な能力と幅広い教育背景を持ち、医学・医療の分野で指導的立場に立ちうる人材を集めたいと考えています。このような背景に鑑み、医学に従事する職業的な制約による適性を重視し、高い知的能力のみならず、人間性を含めた総合的に卓越した能力・人格を有する学生の入学を切望するものであります。



新医学領域の開拓と 革新的医療の創成

京都大学 医学部・医学科の特色

医師や医学研究者の養成

医学科のカリキュラムは、医師や医学研究者を養成するための講義と実習などを基本とします。すべての授業が必須科目で、6年間の授業で、医学全般を学び、経験します。基礎医学では、生命科学ならびに医師に必要な解剖学・生理学・生化学・病理学・法医学などを学びます。社会健康医学では、個人に対する医療だけでなく、社会全体に対する医学の応用を学びます。臨床医学は、すべての臨床医学の分野について、授業と臨床実習を通じて、基礎となる理論と実際の医療現場での活用を学びます。これらを通じて卒業認定後に、医師国家試験の受験資格が与えられます。また、MD-PhDコースなど、研究に専念することを希望する学生には、研究者になる種々の道が用意されています。

学生個々の資質を最大限に伸長

京都大学医学部医学科では、個々の学生の、医師、医学研究者としての資質を最大限に伸ばし、医療や医学研究の分野で活躍できる、すぐれたリーダーを養成することをめざしています。

「医師」には専門知識の習得と同時に、その知識を論理的に使う問題解決能力や、病める患者さんと向き合って病気を治療する感性豊かな人間性および人間そのものに対する深い洞察力が必要とされます。また、何よりも、人々の健康を増進し、病めるものを救おうという強い情熱が必要です。一方で、病気の発生機序の解明、新しい診断法や治療法の開発などを目指す医学研究も重要です。また、医療制度が寄って立つ社会への深い理解も重要です。京都大学医学部医学科は、このような分野ですぐれた医療人を育成することをめざしています。

「医学研究者」には、新しい知を開拓するための情熱と、卓越した能力が必要です。京都大学には、国際的にも卓抜した研究業績を有する指導者が集まっており、研究開発のできる人材を育成する環境が整えられています。

医学研究者を育む「MD-PhDコース」

京都大学医学部医学科には、基礎医学研究者を育成するための道として「MD-PhDコース」が用意されており、早期に研究の機会を得ることができます。本コースには、4年次終了時点で学部を休学して大学院博士課程へ進学、医学博士の学位を取得後、学部5年次へ復学するコース（学部挿入型）と、学部を卒業後2年以内に大学院博士課程へ進学、最短3年で医学博士の学位を取得するコース（卒後進学型）があります。



在学生からのメッセージ



医学部
医学科 4回生
加藤 功一さん
新潟県 長岡高等学校 出身

挑戦が歓迎される環境です

「研究するなら京大!!」と考え、入学しました。実際、京大の医学科には自主的な活動を歓迎する雰囲気があり、入学早々に以前から興味があった神経科学の研究室に通いました。当初は泳げないのに海に飛び込んだような状態でしたが、徐々に分子生物学の基本的な手技を修得し、論文も深く読めるようになり、研究室での議論についていけるようになりました。京大の医学科には通常の授業に加え、「習うより慣れよ」を自主的に実践できる環境があります。また、いろんな活動をしながらかんぽ院を見学したり、他学部の講義を聴講したり、サークル活動をしたり、すべて徒歩圏内で行えるのは京大の隠れた魅力です。この環境を活かし、専門性を深めつつ視野の広い人材になりたいと思います。



医学部
医学科 4回生
上田 未来人さん
京都府 洛星高等学校 出身

憧れの京都大学で 最先端の医学を学んでいます

幼少期、病弱だった私を救ってくださった京大出身の医師の方々に憧れ、自分も将来この手で人の命を救いたいと考え、京大の医学科に進学しました。また、京大の医学科では世界最先端の医療を研究・実践されている方から直に学ぶことができ、希望すれば海外の研究室に行くこともできます。医学は日々進歩し、10年前は不明だった知見が私たち学生の前にも現れています。もちろん内容は学年を増すごとに高度になり、苦悩することもあります。学んだ知識が繋がっていく「知」への喜びも感じています。今は現場での実践に向け、基礎医学を土台に日々臨床医学を学んでいます。今後も「知」への好奇心をもち続け、「自由の学風」を存分に活かし、日夜勉学に励んでいきます。

医学部 医学科

学びの紹介

生命科学の深淵に触れながら、
医学を多様な面から掘り下げる

基礎医学

入学当初2年間は教養教育を軸とする「全学共通科目」の履修が主体となります。並行して、医療人の素養をばぐむ取組や研究マインドを育成するチャレンジが始まります。国際的に活躍する医学者・医療人を育成するために、外国人教員による英語での生物学授業も用意されています。

なお、「全学共通科目」は3・4年次での履修も可能で、グローバルに活躍する人材を育成するために、医学科所属の外国人教員が担当する医学関連の英語セミナー（ILASセミナー）の履修を推奨しています。

基礎医学の履修は、3年次から本格的になり、生命科学の深淵に触れる学習を、さまざまな面から掘り下げて深めています。同時に、京都大学では、多くの学生が様々な研究室で研究に参加しています。世界的な先進的研究を行っている研究室が多く、身をもって最新の医学研究を体験できる機会となっています。このため、早い時期から海外で研究を行う学生も少なくありません。

医学部・医学科のカリキュラム概要

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
教養教育(全学共通科目) 人文・社会科学科目群 自然科学科目群 外国語科目群 情報科学科目群 健康・スポーツ科目群 キャリア形成科目群 統合科学科目群 少人数教育科目群		専門科目 基礎医学 社会医学 臨床医学	マイ コース ・ プ ロ グ ラ ム 臨床 実 習 入 門 コ ー ス	臨床実習		医師 国 家 試 験
共用試験(CBT・OSCE)						

臨床の現場に適応し、
責任をもって診療できるリーダー人材を育む

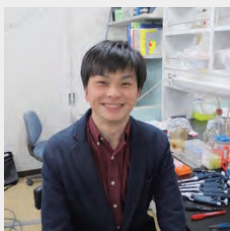
臨床医学

臨床医学は主に3年次後半から4年次の授業で学び、5・6年次では病院での実習を行っています。京都大学では、平成26年度より新しい実習カリキュラムを導入し、単に医学知識を習得するだけでなく、臨床の現場に適応し、責任をもって診療できるリーダーとしての人材を育成することをめざし、参加型に重点をおいた実習を実施しています。実習は医学部附属病院だけでなく、学外の実習病院でも行われ、ここでは第一線で医療に携わる経験豊かな医師が臨床教授として学生教育に携わっており、豊富な臨床経験に基づいた少人数教育が行われます。このような密度の濃い臨床教育を通じ、最新の医療とその発展に貢献できる人材育成をめざしています。

卒業生からのメッセージ

基礎医学研究への誘い

基礎医学研究者の育成は京大医学科の使命のひとつです。京大では研究に興味をもつ学生の研究室受入れ体制が整っており、望めば1年次から世界の第一線で活躍する研究者と議論を交わし、実験することができます。私は医師を志して京大の医学科に入学しましたが、研究室で実験の手ほどきを受け、先生方との議論を通じ、基礎医学に引き込まれていきました。また、第一線の先生方の講義は私の興味を生命科学や基礎医学へ向けました。これらを通じ、基礎医学研究者になりたいとの思いが強まり、大学院に進みました。今は鉄とオートファジーの研究に従事し、充実した日々を送っています。京大の医学科を志す皆さんには自ら学びの場所を求め、学問・研究に没頭して欲しいと思います。



京都大学 大学院 医学研究科
医学専攻 博士課程1回生
細胞機能制御学分野 所属

九野 宗大さん
京都大学 医学部 医学科 2018年3月卒業
岐阜県 岐阜高等学校 出身

自由に学んで自由に選ぶ

高校の頃、医学を広く総合的に学びたいと思い、京大の医学科に入学しました。在学中、実感したのは自分がしたいと思ったことを全力で支援・指導してくださる先生方がいることの素晴らしさ。特に研究室や留学への門戸は広く、海外で臨床実習を経験したことで視野が広がり、自身の可能性を模索するに際し有意義でした。さらに6年間、世界でトップレベルの研究・臨床をされている先生方から指導を受けられるのも京大医学科の魅力です。研修医になった今もこれらの経験を活かし、患者さんの役に立てるように励んでいます。振り返れば京大の医学科には、自分のしたいことを自分で選び、学ぶことができる環境があります。皆さんもぜひ、ここで自分の可能性を切り開いていってください。



京都大学 医学部附属病院
研修医(2年目)

平田 惟子さん
京都大学 医学部 医学科 2017年3月卒業
京都府 京都教育大学附属高等学校 出身

最先端の医療、
教育の場

医学部附属病院

京都大学医学部附属病院(京大病院)には、世界や日本の医学をリードする医師が数多くいます。また、近年多くの新しい部門・設備も整えられています。例えば基礎医学との橋渡しとしての臨床研究センターが役割を果たし、いち早く患者さんに最先端の医療を届けています。また、地域の医療機関との連携により医療の効率を上げる地域医療ネットワークも機能しています。初期診療・救急医学の部門も整備され、多くの救急患者さんを助けています。京大病院には移植医療や、分子治療、あるいはiPS 診療部など最先端の医療があり、世界の最前線を経験できます。がん専門病棟も整備され、診療・治療・教育の場として充実した施設です。



医学のさらなる発展と
未来を見つめて取り組む

基礎医学研究者の育成

京都大学医学部医学科では、基礎医学研究者を育成するための道が種々用意されています。

●基礎医学研究者育成プログラム／東京大学、大阪大学、名古屋大学、京都大学、4大学の合同で、長期的視点に立った基礎医学研究者の育成プログラムを開発すべく、医学分野における教育体制の強化と研究の活性化に取り組んでいます。
1年次全員を対象としたプライマリーコースはカリキュラムに組み込まれおり、アドバンスドコースでは選抜された学生20名程度を対象に、論文精読会や基礎医学セミナー、ラボ・ローテーションでの研究成果発表、短期海外留学や学会参加へのサポート、4大学合同リトリート、コンソーシアムを組む連携大学(福井大学・滋賀医科大学・神戸大学・京都大学)間でのリトリート・交流会を行っています。

●ラボ・ローテーション／1年次後期から研究室をまわり、各々の研究室での研究活動に参加します。ラボ・ローテーションを通じ、医学研究のさまざまな分野と手法を広く見聞・体験しながら、研究者としての適性を判断し、性分にあった実験手法と分野を見いだすことを目的としています。
●MD-PhDコース／ラボ・ローテーション、ラボ配属を経て、医学研究者を目標に定めた学生が早期に研究の機会を得ることができるコースです。4年次修了時点で学部を休学して大学院博士課程へ進学、医学博士の学位(MD-PhD)を取得後、学部5年次に復学するコース(学部挿入型)と、学部を卒業後2年以内に大学院博士課程へ進学、最短3年で医学博士の学位(MD-PhD)を取得するコース(卒業進学型)があります。



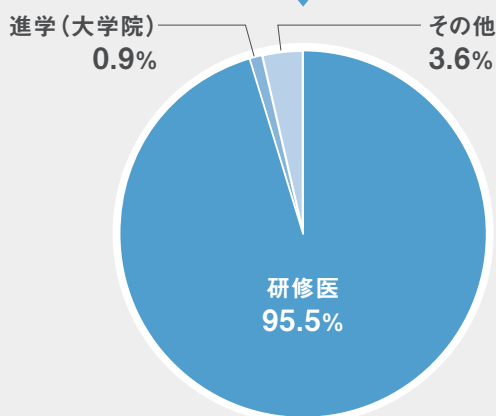
◆全国リトリート2017

卒業後の進路

◆概要／研究分野によっては大学院に進学する者もありますが、一般的には医師免許取得後、医学部附属病院あるいは研修病院において2年間の卒業臨床研修を行います。

◆取得可能な資格／医学科の所定課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者には、厚生労働省が実施する医師国家試験の受験資格が与えられます。

2017年度卒業生(110名)の状況

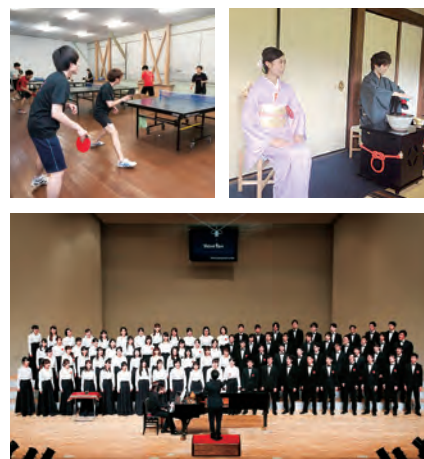


※医師国家試験合格者107名(97.3%)

Topics

課外活動

医学部には公認団体が体育系・文科系あわせて29団体あり、課外における活動も活発です。





医学部

人間健康科学科

FACULTY OF MEDICINE
SCHOOL OF HUMAN HEALTH SCIENCES

人間健康科学科が望む学生像

京都大学・医学部がこれまで進めてきた医学研究と高度先進医療をさらに発展させ、豊かな保健・福祉社会を実現するため、人間健康科学科では健康科学を確立し、人々の健康を実現したいと考えています。その具体化に向けて、人間健康科学科では高度医療専門職（看護師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士）の養成はもとより、健康科学を発展させる教育・研究者の育成をめざしており、こうした夢にチャレンジする意欲をもつ人を求めています。

京都大学 医学部 人間健康科学科とは

健康科学の実践人材を育む学科

人間健康科学科は「健康について科学する」を教育の中心に定め、新入生の時点から健康科学に関する基盤を形成していきます。あわせて4年間を通じてヘルスプロモーションの考え方を学習、保健医療福祉の分野で健康科学を実践する人材を育成します。

チーム医療を見つめたリーダーシップの伸長

チーム医療に積極参画し、リーダーシップが発揮できる医療専門職になることを目標に、患者中心の医療を進めるために必要な理念・方法論を学習します。そうして固めた基礎に立脚し、高度先進医療に対応しながら医療を国際的に担える総合医療科学領域の専門家を養成します。

高度医療専門職を育む3コース

一般入試で入学した学生は2年次前期の終了時、自身の希望や適性に基づき、「先端看護科学コース」、「総合医療科学コース」、理学療法学講座と作業療法学講座をもつ「先端リハビリテーション科学コース」、いずれかを選択します。
※特色入試で入学した学生はコースを選択する必要はなく、入学時に希望したコースに進みます。

実力を高め続ける綿密な科目構成

人間健康科学科の授業は、全学共通科目、専門基礎科目、専門科目で構成されています。「全学共通科目」は個々の専門領域を超えた幅広い学問の基礎知識を学ぶと共に、高度な学術文化にふれることで、豊かな人間性を育むことを目的としています。「専門基礎科目」では、人間健康科学科の3コースそれぞれの専門領域を超え、医療従事者に必要とされる基礎的な専門知識を学びます。これらに各コースの「専門科目」を加えて学び、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、それぞれの実践力や高度先進医療への対応力を身につけていきます。

※人間健康科学科は1年間を前期・後期の2学期に分け、各学科ごとに履修科目登録と成績評価を行う「セメスター制」を採用しています。但し各教科実習や臨床実習の実施日時は京都大学全体のセメスター日時と合致しない場合があります。
※人間健康科学科では卒業に必要な全学共通科目の単位数を定めています。また、特に履修を要する科目もあります。



臨床と研究の双方を視野に入れ 最先端医療にふれつつ学ぶ

京都大学 医学部・人間健康科学科の特色

最先端の看護科学を修めた看護師の養成

「先端看護科学コース」では2年次後期から専門科目を履修、まずは基礎看護学などにより、独自の健康観や看護観を形成するための基礎的な考え方や理論を学びます。あわせて基礎看護学技術論と同演習、臨床基礎看護学と同技術演習、これらの科目から援助の知識や方法論を学びます。3年次では成人、精神、母性、小児、在宅、地域、各専門領域の学びを通じ、疾病をもつ人や状況に対するアセスメント等の専門知識、領域特性に応じた援助の方法論などを身につけます。4年次では在宅と地域を対象とする統合実習に取り組みます。あわせて志望する研究室に所属、教員による個別指導を受けつつ卒業研究(統合看護)を進めます。

先端科学の知見をもつ理学療法士の養成

「先端リハビリテーション科学コース」理学療法学講座では2年次後期に入門理学療法・作業療法などを学び、3年次前期から学ぶ専門科目の土台となる健康観や理学療法観の基礎的な考え方や理論を養います。あわせて臨床評価実習と臨床実習を3年次後期から4年次前期の間に行い、理学療法の現場を経験します。臨床実習の終了後は発展臨床実習と卒業研究に取り組み、リハビリテーションを先端科学の観点から捉え、臨床あるいは研究の場でリーダーシップを発揮できる理学療法士をめざします。

未来の医療に対応する臨床検査技師の養成

「総合医療科学コース」では2年次後期から総合基礎科目と総合専門科目を履修します。総合基礎科目では生命基礎医学、臨床医学、医療理工学、各講座の学びを通じ、医学・医療の基盤となる知識と技術を身につけます。総合専門科目は学生個々が養いたい専門性にあわせて選択します。これらにより、医学・医療の基礎知識に高度な専門知識を重ね、先端医療技術の開発や未来の医療ニーズに対応できる能力を身につけます。4年次からは研究室に所属、教員による個別指導を受けつつ卒業研究を進め、自ら見つけた課題を自ら解決する能力を養います。なお「総合医療科学コース」では所定の課程の修了により、臨床検査技師の国家試験受験資格が与えられます。

先端科学の知見をもつ作業療法士の養成

「先端リハビリテーション科学コース」作業療法学講座では2年次後期に入門理学療法・作業療法などを学び、3年次前期から学ぶ専門科目の土台となる健康観や作業療法観の基礎的な考え方や理論を養います。あわせて臨床評価実習と総合臨床実習を3年次後期から4年次前期の間に行い、作業療法の現場を経験します。総合臨床実習の終了後は先端作業療法学の履修と卒業研究に取り組み、リハビリテーションを先端科学の観点から捉え、臨床あるいは研究の場でリーダーシップを発揮できる作業療法士をめざします。

新たな 研究分野への 展開

人間健康科学科は2017年4月に組織を再編、「ビッグデータ医科学分野」を新たに設定しました。このビッグデータ医科学は、ゲノム医療に基づく個別化医療に必要な新しい早期診断手法の研究開発を加速するために必須の分野です。但し日本では、この分野の研究開発や人材育成がこれまでに進んでおらず、米国に大きく遅れをとっています。人間健康科学科では現在、バイオインフォマティクス、ビッグデータ科学、ゲノム医科学、医療情報学、医療統計学、これらに精通した指導者による体系的なカリキュラムが検討されています。そうした教育を受ける人材への注目度は高く、医療ビッグデータ解析や臨床ゲノム解析に基づく研究開発プロジェクトでの活躍をはじめ、日本や世界の最先端医療を牽引することが期待されています。

在学生からのメッセージ

臨床検査技師の育成だけでなく
医療への多様なアプローチによる
研究を行っています



医学部 人間健康科学科
検査技術科学専攻 4年生
武田 瑞穂さん
広島県 安佐北高等学校 出身

人間健康科学科の検査技術科学専攻では臨床検査技師の育成だけでなく、最高学府としての立場から、医療に関する多様なアプローチの研究を行っています。そのため入学直後から各分野のエキスパートによる講義・実習で学びが深められ、かつ隣接する附属病院での実習を通じて技師の仕事を目の当たりにすることで、私たちの健康は多くの人々の力があってこそだと実感できます。このような3年間を経て、負担の少ない治療環境を提供したいと考えるようになり、今は難治性“がん”に効果のある薬の探索を行う研究室に所属しています。受験生の皆さん、望みを叶えるためには、たとえ険しい道程でも頑張って歩き続けてください。素晴らしい景色が待っていますから!!

ケガや障害に悩む多くの人々を
臨床での支援や研究を通じて救う
理学療法士をめざしています



医学部 人間健康科学科
理学療法学専攻 2年生
岡田 笙吾さん
香川県 高松高等学校 出身

高校1年の春、クラシックバレエで腰をケガしたのですが、理学療法的なアプローチによるリハビリのおかげで舞台に復帰できました。その経験から理学療法の分野に興味をもち、人間健康科学科に進みました。今は高校時代の自分のように、ケガや障害に悩む多くの人々を臨床での支援や研究によって救う理学療法士をめざし、日々多くのことを学んでいます。また、京大では学部で多くを学ぶことができるのはもちろん、「自由の学風」のもとで部活やサークル、課外活動など、自分のしたいことに打ち込めます。学生ならではの体験を求め、社会人になる前の数年間を過ごすにふさわしい環境が、この京大にはあります。

医学部 人間健康科学科

各コースの紹介

新しい発想の教育・研究を行う

先端看護科学コース

(基礎看護学講座／臨床看護学講座／家族看護学講座／地域看護学講座)

看護学の対象は、あらゆるライフサイクルの個人や家族はもとより、地域や国際社会に広がっています。また、病気の人だけでなく、疾病の予防や健康増進をふくめ、あらゆる健康レベルの人々に関わります。そのため看護学専攻をもつ先端看護科学コースでは、既成の枠にとらわれない新しい発想の教育・研究を行い、新たな領域を開拓していくことをめざし、次の4講座を設けています。あわせて国際看護学のリーダー育成を念頭に、大学院進学を推奨しています。

●基礎看護学講座／人間、健康、環境、生活など、基本的な概念に関連する健康現象について、実践の基盤となるエビデンスの探求や評価手法を開発します。あわせて看護学全般の基礎となる知識や方法論の体系化、理論の検証をめざした教育・研究を行います。

●臨床看護学講座／人の健康は身体的・精神的・心理社会的など、さまざまな因子の統合によって形成されます。臨床看護学講座では成人の心身の健康問題を主に扱い、専門的な視点からアセスメントする方法や援助技術を開発し、実践の場で活用するための教育・研究を行います。

●家族看護学講座／少子化・核家族化が進む21世紀では、家族は重要な社会的単位であり、健康生活を維持・増進するためのサポートシステムでもあります。家族看護学講座では、さまざまな家族・社会の形態や環境をふまえ、母子とその家族を取り巻く専門的な理論と技術に関する教育・研究を行います。

●地域看護学講座／地域看護学の分野では、長寿・高齢化社会や少子化社会に対応するサクセスフルエイジング、高齢者への保健看護活動や地域組織活動、健康な街づくり、保健医療福祉の連携とネットワーク化、これらに関する教育・研究を行います。在宅医療看護学の分野では、訪問看護や高齢者施設における看護・医療について学びます。

独創的・科学的な理学療法士を育む

先端リハビリテーション科学コース

(理学療法学講座)

理学療法は日常生活に必要な基本動作能力に障害がある人々、または障害を引き起こす可能性のある人々、こうした人々が社会生活に適応するために必要な援助・治療技術を提供する実践科学です(それらの技術を提供する医療専門職が理学療法士です)。なお少子高齢化が進む今日、理学療法士の職域は医療機関だけでなく、地域における保健・福祉の分野にも広がっています。そのため理学療法士には、医療・保健・福祉を横断する専門職にふさわしいバランス感覚が求められています。また、自由裁量に基づく判断と行動が必要とされる理学療法士には、専門的な知識や技術を習得するだけでなく、科学的根拠に基づいて行動し、問題を解決する能力と豊かな人間性が不可欠です。理学療法学専攻では、こうした社会的ニーズに応えられる高度医療専門職としての理学療法士の育成に向けた教育を行うと共に、日本と世界の理学療法を牽引できるリーダーおよび研究者の養成をめざし、理学療法学講座を設置しています。

●理学療法学講座／京都大学医学部附属病院で最先端医療にふれながら行う臨床教育を通じ、科学的な根拠のある医療(Evidence Based Medicine : EBM)に基づく判断力と柔軟な対応能力を養います。また、基礎教育科目やゼミ、卒業研究などを通じ、科学的な思考力と実践的な問題解決能力を養います。これらのカリキュラム設定は大学院への接続が意識しており、医学研究科人間健康科学系専攻に進学することで、理学療法領域のリーダーをめざした研究に取り組みます。そうした道を歩んだ卒業生も数多く、大学病院や臨床中核病院などの理学療法士としてはもちろん、大学の教員・研究員として活躍し、世界的に注目されている人材も少なくありません。

卒業生からのメッセージ

大学院での研究を通じ

きちんと考えて意見を言える理学療法士になりたい

京大はおもしろいと思ったこと、やりたいと思ったことは、大抵なんでもできることです。私は学部生の頃、陸上部でトレーナーの活動をしたり、他大学の学生とアメリカのリハビリ施設を巡ったりしました。これらの経験がモチベーションとなり、もっと頭を使える理学療法士になりたいと考え、大学院に進学しました。現在は低強度でも効果的なトレーニング方法の開発をテーマに研究しています。さらに研究を通じ、専門領域について詳しくなるだけでなく、現場で用いられている治療方法は本当に効果があるのかと疑問に思う眼や疑問を解決する術を修得し、きちんと考えて意見を言える理学療法士になっていきたいと思っています。



京都大学 大学院 医学研究科
人間健康科学系専攻
リハビリテーション科学コース
博士後期課程2回生

中尾 彩佳さん

京都大学 医学部 人間健康科学科
理学療法学専攻 2015年3月卒業
京都府 同志社高等学校 出身

京大の人間健康科学科で学び

皆さんも自分の新たな可能性を見つけてみませんか

医療への興味から人間健康科学科を選びました。入学すると医療の世界で名高い先生が数多くおられ、そうした方々から直に講義を受けたり、実際の臨床でおこなっていることを学んだり、驚くほど素晴らしい環境が用意されており、京大の魅力を存分に感じとりました。また、「自由の学風」で知られる京大ですが、自分の学びたいこと、やりたい研究が本当にできてしまうのも京大で学ぶ意義だと思います。さらに京大では、自分と異なる価値観や考え方をもち、それらを共有しあえる仲間とたくさん出会えます。そんな京大の人間健康科学科で学び、皆さんも自分の新たな可能性を見つけてみませんか。



京都大学 大学院 医学研究科
人間健康科学系専攻
リハビリテーション科学コース
修士課程1回生

高橋 里奈さん

京都大学 医学部 人間健康科学科
作業療法学専攻 2018年3月卒業
岐阜県 岐阜北高等学校 出身

独創的・科学的な作業療法士を育む

先端リハビリテーション科学コース

(作業療法学講座)

日々の暮らしは身辺処理などの生活を維持する活動、職業や家事・育児・学業などの仕事に関する活動、遊びや余暇の活動、これらによって営まれています。生活の質、健康な生活、社会参加の内容は、そうした活動のありようによって左右され、活動に支障をもたらす病や障害は、生活に支障をもたらします。

作業療法学専攻では、それらの予防・改善を先端リハビリテーション科学によって担う高度医療専門職としての作業療法士の育成に向けた臨床教育を行うと共に、日本と世界の作業療法を牽引できるリーダーおよび研究者の養成をめざし、作業療法学講座を設置しています。

●作業療法学講座／生活を科学する作業療法は「適応の科学」と言われ、病や障害により日々の暮らしに支障を来している人々へ、自律した生活に適應できる能力の発達・回復・開発・維持を援助します。但し生活への適應困難は、生理機能、運動機能、認知機能、社会的機能などの要因のいずれか、もしくは複数の要因が重なって生じます。そうした問題を分析し、対策を立案するため、作業療法学講座では、適應機能の改善・回復を効果的に実践するための作業活動の特性を学び、対象者個々のニーズにあわせた作業を段階づける知識・技術を獲得すると共に、作業分析法、評価法、援助法などを身につけていきます。また、作業療法は高度先進医療を補完する治療・援助技法としても注目されており、作業療法学講座が進める研究成果を臨床で実践する人材の育成もめざしています。さらに大学院(医学研究科人間健康科学系専攻)では近赤外線分光法、脳波・自律神経機能測定、神経心理学的検査、脳磁図などによる客観的指標の研究に取り組み、京都大学医学部附属病院と連携しながら、高度な臨床専門職と教育・研究職を養成しています。

高度な医療専門職の育成をめざす

総合医療科学コース

(生命・基礎医学講座／臨床医科学講座／医療理工科学講座)

総合医療科学コースでは大学院と連携したカリキュラムを設定、医学・医療の知識をベースに、周辺科学に関する高度な専門性を身につけていきます。あわせて再生医療をはじめとする最新の医療を支える基盤研究、近未来の医療ニーズに応える学術研究、世界レベルの研究を牽引する研究者のサポート、これらと共に、先端医療の一翼を検査技術科学の面から担う高度医療専門職(臨床検査技師)の育成に向けた教育を行います。その推進に向けて総合医療科学コースは、次の3講座を設けています。

●生命・基礎医学講座／病気を理解するためには生命の基本原則を知り、生命を統合的に把握する力が必要です。これを念頭に生命・基礎医学講座ではヒト疾患の原因や病態を学び、治療の予後予測に必要な不可欠な生体情報を多角的に解析しつつ全体を俯瞰できる総合的医療研究者の育成をめざします。あわせてヒトをふくむ生命と生物原理を理解し、現代医療の多様な問題を解決できる研究者・教育者の育成もめざします。

●臨床医科学講座／生体から得た情報を臨床の診断や治療に応用すること、移植医療・再生医療・遺伝子治療などの先進医療技術の展開に寄与すること、これらを目的に、その基礎となる理論や技術に関する教育・研究を行います。あわせて臨床の多様な問題の解決に向けて、積極的・機動的に対応できる能力を備えた人材の育成をめざします。

●医療理工科学講座／先進医療を支える生体医療情報解析や医療画像診断の技術を進化させるには、医学・理学・工学の融合分野の研究を牽引する人材が必要です。そのため医療理工科学講座では大学院進学を見据えたカリキュラムを設定しています。あわせて医療系の大学では他に先駆けて推進してきた本格的な情報理工学の研究・教育をベースに、先端医療機器システムや医療・介護支援技術の開発など、近未来の社会が医学・医療に求める多様な分野において、グローバルに活躍できる人材の育成をめざします。

卒業後の進路

◆概要(2017年度卒業生は、旧カリキュラムの学生です。)

〈看護学専攻〉医療機関(病院・保健所・市町村・企業内健康管理部門など)や官公庁、医療関連企業、教育研究機関への就職が多く、大学院進学者は例年20%前後です。

〈検査技術科学専攻〉例年60%前後が大学院に進学し、就職先としては医療機関(病院・診療所・保健所など)や教育研究機関の他、製薬等企業・研究所、医療機器メーカー、臨床検査センター、高度先進医療関連施設、科学捜査研究所、医療・保健行政など、多岐にわたります。

〈理学療法学専攻〉例年40%近くが大学院に進学し、他は医療機関(大学病院・リハビリテーション専門病院・一般病院)や行政機関、教育機関、医療関連企業などに就職します。

〈作業療法学専攻〉リハビリテーションセンター、国公立病院、私立病院、老人保健施設、児童福祉施設、医療関連企業、行政機関などへの就職が多く、大学院進学者は例年50%前後です。

◆取得可能な資格

人間健康科学科の所定の課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者は、厚生労働省が実施する次の国家試験の受験資格が与えられます。

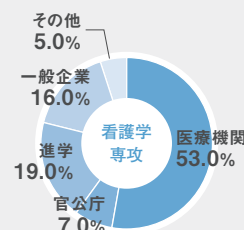
先端看護科学コース／看護師 保健師(選択制)

先端リハビリテーション科学コース(理学療法学講座)／理学療法士

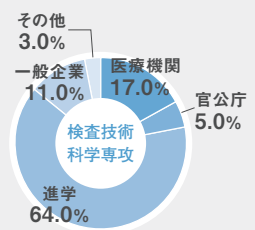
先端リハビリテーション科学コース(作業療法学講座)／作業療法士

総合医療科学コース／臨床検査技師(選択制)

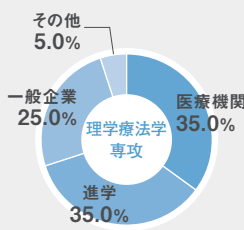
2017年度卒業生の状況



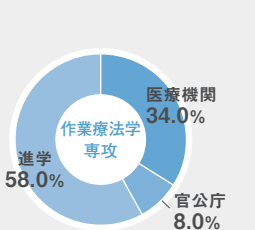
医療機関	36名
一般企業	11名
官公庁	5名
進学	13名
その他	3名



医療機関	6名
一般企業	4名
官公庁	2名
進学	23名
その他	1名



医療機関	7名
一般企業	5名
官公庁	0名
進学	7名
その他	1名



医療機関	4名
一般企業	0名
官公庁	1名
進学	7名
その他	0名



薬学部

FACULTY OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

薬科学科 [4年制]

薬学科 [6年制]

薬学部が望む学生像

京都大学・薬学部は総合科学としての薬学の基礎体系を習得し、創薬と医療薬学に関わる科学者、技術者、薬剤師を育成することを目標とし、次のような学生を求めています。

- 薬科学科 [4年制] の使命は医薬品の創製です。自ら考え、主体的に知識を広げて探求するなど、医薬品を創造するための素質と豊かな心をもつ人を求めています。
- 薬学科 [6年制] の使命は最適な薬物治療の実現です。医療の進歩と発展を担うための向上心、探求心、そして行動力を持ち続けられる人を求めています。

京都大学の薬学部とは

薬の創造と適正使用のための学びの場

人類の健康に大きく貢献する薬は、現代社会に不可欠です。京都大学の薬学部は、そうした薬を創造・創製し、適正に使用するための学問を行う場です。また、薬の開発は先端的な科学と技術の融合によって成り立っており、京都大学の薬学部では化学系、物理系、生物系、医療系などの幅広い専門知識と医療人としての心を学び、社会に貢献することをめざします。

約80年の歴史をもつ薬学の教育・研究

京都大学の薬学教育と研究は昭和14(1939)年、医学部薬学科としてスタートしました。以降、薬学への社会的ニーズに対応し、発足時の有機化学系と分析化学系に生命科学系と医療系などの研究分野を加えることで総合科学としての薬学の教育・研究体制を整え、現在に至っています。

目的別に4年制と6年制の2学科を設置 (4年次に学科振分け)

薬学領域は近年の生命科学の進歩と医療の高度化にあわせ、新しい概念に基づく医薬品の創製・発展と医療への貢献に対応できる教育が求められています。その具体策のひとつが薬剤師国家試験の受験資格取得を履修6年間とした教育制度改革です。

京都大学の薬学部もこれらに対応、医薬品の創製を担う創薬科学研究者・技術者を養成する4年制の「薬科学科」、高度医療を支える薬剤師や医療薬学の研究者・技術者を養成する6年制の「薬学科」、2学科それぞれの目的に則した人材育成を進めています。

※学科振分けは本人の希望及び成績に基づいて、4年次進級時に行います。

創薬・医療薬学研究のトップリーダー

大学院薬学研究科に4年制の薬科学科卒業生に向けた薬科学専攻と医薬創成情報科学専攻、6年制の薬学科卒業生に向けた薬学専攻を設置、研究能力を高める体制を整えています。また、文部科学省から「創薬・医療薬学分野の特色ある研究・教育プログラム」に採択されるなど、先端科学研究と社会貢献というトップリーダーに課せられた使命の遂行に努めています。



創薬の革新と育薬の探求による 医療と社会への貢献

京都大学 薬学部の特徴

基礎の統合と応用による 薬学の発展

薬学は疾患の治癒、健康の増進をもたらす医薬品の創成・生産・使用を目的とした総合科学であり、その基礎は物理学、化学、生物学です。京都大学の薬学部では、こうした基礎教育を徹底すると共に、基礎科学の統合と応用により、薬学の教育・研究を発展させます。

高い社会性と道徳性を養う

昨今の医療技術の進歩と高齢化社会の問題などにより、薬学の社会的な重要性は増大する一方です。また、医薬品の研究開発や適正使用は人の健康や生命に大きく関与します。これらをつまみ、京都大学の薬学部では、薬学に携わる人に必要不可欠な学問的素養はもとより、高い社会性と道徳性を養う教育・指導を行っています。

創薬科学研究者と医療薬学研究者・薬剤師の育成

京都大学の薬学部は創薬科学の研究者・技術者を養成する4年制の薬科学科、高度医療を支える薬剤師と医療薬学の研究者・技術者を養成する6年制の薬学科、2学科で構成されています。学科振分けは本人の希望及び成績に基づいて4年次進級時に行います。教育課程は次のとおりです。

●1・2年次／入学当初1年間は外国語をふくむ教養教育を軸とする全学共通科目、自然科学系を軸とする基礎専門教育科目、これらを主に履修します。その目的は幅広い分野の学問にふれながら豊かな教養を身につけると共に、高度な専門科目を学ぶための基礎学力と思考力を養うことです。あわせて「薬の世界」入門、薬学研究SGD演習、基礎物理化学、基礎有機化学などの専門基礎教育科目も履修します。2年次では全学共通科目と専門基礎教育科目の科学コミュニケーションの基礎と実践を履修する他、専門教育の科目も履修し、各自の興味、適性、将来展望に応じて、ゆるやかな専門化を目指します。

●3年次／薬学の専門知識・実験技術を学ぶための専門教育科目を主に履修します。大学院に連結する高度な専門知識を学ぶ研究基盤教育科目の一部も学びます。また、専門実習はすべて必修科目になっており、薬学のあらゆる専門分野に関する実験技術を習得します。3年次の学修を通じて、学科および配属研究室を選択し、各自の希望と成績によってそれが決定されます。
●4年次（薬科学科）／ほぼ1年間、特別実習を行います。この特別実習では研究室に所属し、教員の指導・助言を受けながら特定の専門領域に関する研究に取り組みます。学生はその過程から創薬科学研究の現況を知り、歩み始めようとする研究者の道を模索します。

●4・5・6年次（薬学科）／4年次前期は主に午前は講義、午後は医療薬学ワークショップに取り組み、医療薬学分野の全体像を理解します。4年次後期に始まる特別実習は6年次まで続きます。この特別実習では研究室に所属し、教員の指導・助言を受けながら特定の専門領域に関する研究に取り組みます。学生はその過程から医療薬学研究の現況を知り、自身が歩む臨床薬学研究者・薬剤師としての方向性を模索します。あわせて5年次には京都大学医学部附属病院薬剤部と学外の調剤薬局で5カ月間の実務実習を行います。この実習では医療における薬剤師の役割と職能を理解すると共に、薬剤業務を実践的に学びます。

Curriculum

■ 薬科学科(4年制) 主目的 / 創薬のプロフェッショナル養成(H30年度入学者からは、薬科学科卒業生に対しては、薬剤師国家試験受験資格は与えられません。)
■ 薬学科(6年制) 主目的 / 医療薬学のプロフェッショナル養成(薬学科を卒業すれば、薬剤師国家試験受験資格が与えられます。)

学科の振分け					
一般教養科目	薬学基礎科目	薬学基礎実験	特別実習(卒業研究)	修士課程(2年間)	博士後期課程(3年間)
	創薬科学・生命科学・物質科学専門科目	臨床薬学・医療薬学専門科目			創薬のプロフェッショナル (大学の研究者・企業の研究職など)
	少人数演習	能動学習	体験学習	薬局実習 病院実習	
				特別実習(卒業研究)	博士課程(4年間)
1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
					医療薬学のプロフェッショナル (臨床薬学研究者・臨床薬剤師など)

在学生からのメッセージ

季節ごとに美しい表情を見せる
この京都で皆さんも薬について
学んでみませんか？



薬学部
薬学科 6年生
古田 晴香さん
静岡県 浜松北高等学校 出身

「なんで薬って効くの？」この単純な疑問から薬に興味を湧き、京大の薬学部を選びました。授業では薬が効く仕組み、「主作用」について学びました。しかし、薬の「副作用」についてはまだわからないことがたくさんあります。「なんで副作用は起こるの？」そのようなことを日々考えながら、研究室では副作用の分子メカニズムについて研究しています。学部の卒業後は博士課程に進学、今の研究をさらに深め、副作用で苦しむ患者さんの役に立ちたいと考えています。そんな思いで日々研究に没頭していますが、休日は京都の各地を巡り、四季折々の風情を楽しんでいます(桜と紅葉は格別です!!)。季節ごとに美しい表情を見せる京都で皆さんも薬について学びませんか？

自分の興味ある分野を
選んで専攻できることこそ
京大薬科学科の魅力です



薬学部
薬科学科 4年生
大山 侃志さん
奈良県 西大和学園高等学校 出身

創薬に関心があり、京大の薬科学科(4年制)に進学しました。3年次までに生物化学、有機化学、物理化学など、幅広いけれど専門的な薬学の基礎を学び、4年次からはその中で最も関心をもった有機化学系の薬品合成化学分野に所属し、今は複雑な天然物の全合成について研究しています。卒業後は大学院に進学し、身につける高度な技術と専門知識を活かし、創薬に関わる仕事に就きたいと思っています。但し、ひと括りで「創薬」といっても分野はさまざまです。それらを幅広く学んでから、自分の興味ある分野を選んで専攻できるのは、京大の薬科学科ならではの魅力だと思います。

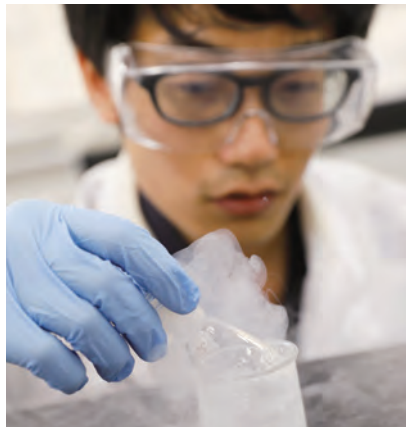
薬学部

学科・研究室の紹介

創薬科学の研究者や
技術者の養成をめざす

薬科学科 [4年制]

医薬品の設計・合成や生体分子との相互作用に関わる諸問題に対峙し、構造・機能や作用・動態などの側面から研究する総合科学としての薬科学について、その基礎と応用に関する知識と技術を学びます。あわせて4年次には希望する研究室に所属し、最先端研究にふれる特別実習に取り組みます。養成をめざすのは創薬科学の研究者や技術者です。また、さらに広い視野に立脚し、専門知識を深めながら研究能力を養うことを目的に、大学院(修士課程・博士後期課程 / 計5年間)に進学する卒業生が多いのも薬科学科[4年制]の特徴のひとつです。



高度医療を支える医療薬学研究者・
薬剤師の養成をめざす

薬学科 [6年制]

医薬品の適正使用を目的とした総合科学としての薬学にアプローチ、その基礎と応用に関する知識と技術を臨床に則して学びます。4・5・6年次には特別実習、病院実習、調剤薬局実習に取り組みます。養成をめざすのは臨床薬学の研究者・技術者や高度医療を支える薬剤師です(卒業時に薬剤師国家試験受験資格を取得)。また、さらに広い視野に立脚し、専門知識を深めながら研究能力を養うことを目的に、大学院(博士課程 / 4年間)に進学することも可能です。



各研究室の研究テーマ

薬科学専攻

〈薬品合成化学 / 高須清誠 教授〉

●生体内で特異機能を発現する人工低分子の設計と開発 ●生物活性天然化合物の合成 ●活性種の特性を活かした高機能基選択的な変換反応の開拓 ●高次分子変換のための実践的方法論の開拓

〈薬品分子化学 / 竹本佳司 教授〉

●医薬品プロセス研究を指向した環境調和型有機分子触媒の設計 ●合成を模した糖鎖修飾ペプチド合成法の開拓 ●元素特性を利用した高立体選択的な触媒反応の開発 ●生物活性天然有機化合物およびその類縁体の全合成と創薬展開 ●機能性複素環化合物の合成とバイオプローブとしての利用

〈薬品資源学 / 伊藤美千穂 准教授〉

●二次代謝機能発現に関する研究 特にテルペノイドの生合成機構の解明 ●生薬ならびに薬用植物に含まれる生理活性成分の研究 ●薬用植物の実態と多様性に関する調査研究 ●吸入投与による精油の生薬薬理学的研究

〈薬品機能解析学 / 松崎勝巳 教授〉

●抗菌性ペプチドの作用機構の解明と創薬への展開 ●アルツハイマー病発症機構の解明と予防・治療法の開発 ●膜タンパク質の構造形成原理の解明 ●受容体の機能解析と創薬 ●NMRによる生体分子の構造解析

〈構造生物薬学 / 加藤博章 教授〉

●ATP Binding Cassette トランスポーターの構造薬理学 ●X線自由電子レーザーを用いたタンパク質結晶学 ●膜タンパク質の構造ダイナミクス

〈創薬機能解析学 / 石濱泰 教授〉

●プロテオミクス新規計測技術の開発 ●ヒトプロテオーム一斉定量分析に基づく細胞機能解析 ●細胞内リン酸化ネットワークの解明 ●微量組織試料の大規模定量解析と臨床プロテオミクスへの展開 ●プロテオミクス技術を用いた分子標的創薬に関する研究

〈精密有機合成化学 / 川端猛夫 教授〉

●動的不斉制御の方法論と不斉反応への利用 ●有機触媒による精密反応制御 ●分子のキラリティーに基づく高次構造の構築 ●分子認識および超分子化学に関する研究 ●生物活性化合物の創出を指向した新規合成法の開発

卒業生からのメッセージ

さまざまなことに挑戦し続けた
素晴らしい京大薬学部での9年間で
今の私をつくってくれました

京大に9年間に在籍し、博士号を取得しました。振り返れば高校生の頃から有機化学に興味があり、基礎研究に打ち込む“心と頭が自由”な大学教員に大きな魅力を感じていたことから、今は大学教員になって研究に励んでいます。在学中は化学仲間と活気あふれる自主ゼミを開催し、フランスに留学し、大きな夢の実現に向けた研究テーマに取り組みました。京大の薬学部には最高の人と環境が揃っています。あとは自分がやるだけです。大学側にやりたいと主張すれば想像の10倍もの激励を返してもらえます。「迷ったらやろう!!」と固く心に決め、さまざまなことに挑戦し続けた日々。素晴らしい京大薬学部での9年間で、今の私をつくってくれました。



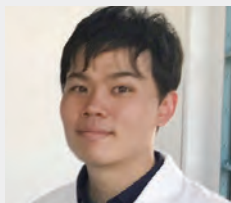
京都府立大学 大学院
生命環境科学研究科
機能分子合成化学研究室 助教

今吉 亜由美さん

京都大学 大学院 薬学研究科 博士課程 2016年3月修了
京都大学 薬学部 薬科学科 2011年3月卒業
大阪府 大手前高等学校 出身

京大の薬科学科なら
とても充実した研究生生活を
過ごすことができます

生体内では何万種ものタンパク質が複雑に作用しあって機能しています。多くの医薬品は特定のタンパク質を標的としますが、その作用は特定のタンパク質にとどまらず、全体に波及していきます。その機構を明らかにするため、生体内のタンパク質を一挙に解析するプロテオミクスに関する研究を行っています。研究活動は多難ですが、その過程の中で論理的な問題解決への道筋を導き出す能力を培うことができました。最先端の測定機器を学生が自分の手で扱うことができること、さまざまな学会で発表の機会があること、さらに留学生の多い環境など、京大の薬科学科なら、とても充実した研究生生活を過ごすことができます。



京都大学 大学院
薬学研究科 博士後期課程 2回生

小形 公亮さん

京都大学 大学院 薬学研究科 修士課程 2017年3月修了
京都大学 薬学部 薬科学科 2015年3月卒業
奈良県 奈良高等学校 出身

薬学専攻

〈生体分子認識学 / 竹島浩 教授〉
 ●小胞体Ca²⁺シグナリングに関する研究 ●中枢系の機能制御と情報伝達に関する研究 ●筋細胞の膜構築と機能に関する研究

〈遺伝子薬学 / 三宅步 講師〉
 ●細胞増殖因子 (FGF) の脂肪組織 脳形成などにおける役割の解明 ●遺伝子探索法による新規細胞増殖・分化因子遺伝子の探索と構造解析 ●遺伝子機能抑制小型魚類の作成による新規遺伝子の個体レベルでの機能解析 ●遺伝子欠損マウスの作成による新規遺伝子の機能解析とその分子機構の解明 ●組織形成・組織修復の分子機構の解明と再生医学への応用

〈生理活性制御学 / 井垣達史 教授〉
 ●細胞競合の分子機構に関する研究 ●細胞間コミュニケーションを介したがん制御機構に関する研究 ●細胞老化を介したがん制御機構に関する研究

〈生体情報制御学 / 中山和久 教授〉
 ●低分子量GTPaseによる細胞内タンパク質輸送の調節機構 ●織毛内のタンパク質輸送と織毛形成の調節機構 ●細胞内タンパク質輸送による多様な細胞機能の調節機構 ●生体膜の非対称性の制御による細胞機能の調節機構

〈神経機能制御学 / 根岸学 教授〉
 ●細胞形態及び細胞運動におけるRhoファミリー低分子量G蛋白質の機能の研究 ●細胞形態及び細胞運動におけるRasファミリー低分子量G蛋白質の機能の研究 ●神経軸索ガイダンス分子のシグナル伝達機構の研究

〈生体機能化学 / 二木史朗 教授〉
 ●細胞機能・遺伝子を制御する生理活性蛋白質の創製 ●ペプチドを基盤とするバイオ高分子の細胞内導入法の開発とその原理 ●生体膜の構造変化を誘起する蛋白質・ペプチドの機能設計 ●人工転写調節蛋白質の設計と遺伝子発現制御 ●膜蛋白質の会合制御とシグナル調節

〈薬品動態制御学 / 樋口ゆり子 講師 / 山下富義 教授 (兼務)〉
 ●治療の最適化を目的とする薬物の体内動態制御法、製剤設計法の開発 ●ナノ製剤の物性/薬効/毒性相関の分子機構解明と評価技術の開発 ●ドラッグデリバリーシステム技術を活用した細胞製剤化に関する研究 ●ケモインフォマティクスに基づく薬物動態特性のインシリコ予測

〈臨床薬学教育 / 米澤淳 准教授〉
 ●薬物の体内動態解析に基づく薬効・副作用発現機構の解明 ●個別化医療を目指したバイオマーカーの探索 ●薬物動態と薬効の速度論的解析に基づく個別化投与設計に関する研究

〈病態機能分析学 / 小野正博 教授〉
 ●脳疾患、心疾患、がん、糖尿病などでの生体機能変化をインビボ解析する分子イメージング法の開発とそれによる病態及び薬物作用の解明に関する研究 ●病態の特性に基づく標的部選択的移行性、選択的活性化を示す機能性画像診断・治療薬剤の創薬研究 ●生理活性金属化合物の生体作用の解明と治療への応用に関する研究

〈病態情報薬学 / 高倉喜信 教授〉
 ●Exosomeを利用したドラッグデリバリーシステムの開発 ●遺伝子導入技術を基盤としたサイトカイン・免疫療法の確立 ●核酸ナノ構造体を利用したタンパク質・核酸医薬品デリバリーシステムの開発

〈生体機能解析学 / 金子周司 教授〉
 ●TRPチャネルなどの膜輸送タンパク質を対象とする病態生理機能解析、薬効解析、ゲノム科学に関する研究 ●神経・グリア・免疫細胞連関の病態および薬効への寄与に関する研究 ●痛みの発現制御基盤および鎮痛薬の作用機序に関する研究 ●薬物有害事象や薬物依存の分子および細胞メカニズムに関する研究

〈医療薬剤学 / 松原和夫 教授〉
 ●医薬品の副作用・毒性の発現機序および対策に関する研究 ●分子標的型抗がん剤の薬効・副作用と血中濃度の相関に関する研究 ●薬物トランスポーターの分子・細胞生物学的解析 ●医薬品の有害反応に関する疫学的調査研究 ●中枢および末梢神経障害の病態と治療に関する研究 ●疼痛の病態生理と鎮痛薬、緩和医療に関する研究

医薬創成情報科学専攻

〈薬理ゲノミクス(ゲノム創薬科学) / 平澤明 准教授〉
 ●生体内オーファンG蛋白質共役型受容体のリガンド探索 ●遺伝子改変動物、病態動物を用いた遺伝子の個体レベルの機能解析 ●患者個人の遺伝子多型情報に基づいた最適臨床薬物療法の実現

〈ケモゲノミクス(薬品有機製造学) / 大野浩章 教授〉
 ●複雑な化学構造を有する生物活性化合物の合成と創薬展開 ●複雑な化学構造を一挙に構築するための新反応の開発 ●新しいペプチド・ヘプチドミメティクスの化学合成法の開発と応用 ●Gタンパク共役型受容体リガンド・プローブの創製 ●化合物ライブラリーの構築と応用

〈システムバイオロジー(時間医療) / 土居雅夫 教授〉
 ●時間医療科学の創成を目指した先端的システムバイオロジー研究 ●体内時計を基盤とした老化・加齢の時間治療戦略の開発 ●G蛋白質共役受容体による睡眠・代謝・環境適応の脳内基盤の解明 ●生体リズム異常による生活習慣病の解明とヒトへの臨床応用 ●化合物ライブラリー網羅探索に基づく生体リズム調整薬の創出

〈システムケモセラピー(制御分子学) / 掛谷秀昭 教授〉
 ●多因子疾患(癌、心疾患、感染症、神経変性疾患、免疫疾患、糖尿病等)に対する次世代化学療法の開発を指向した先端的ケミカルバイオロジー研究 ●創薬リード化合物の開拓を指向した新規生理活性物質の天然物化学・天然物薬学 ●ケモインフォマティクス、バイオインフォマティクスを活用したシステムケモセラピー研究およびメディナールケミストリー研究 ●有用物質生産・創製のための遺伝子工学的研究(コンビナトリアル合成研究等)

〈統合ゲノミクス / 緒方博之 教授〉
 ●ウイルスゲノムの多様性理解と機能解析 ●微生物群集と環境の相互作用の解明 ●創薬と環境保全への応用を目指した大規模遺伝学データの統合

〈分子設計情報 / 馬見塚拓 教授〉
 ●バイオインフォマティクス/ゲノムワイドなデータからの情報処理技術による知識発見 ●先端情報科学技術の創出による生命情報解析・創薬技術の高度化 ●薬物投与データからの生体分子間ネットワーク推定による創薬インフォマティクス ●生体分子の生命機構の理解に向けた情報抽出技術の高精確化 ●システムズバイオロジー・計算機による複合からの生命現象の解析・理解

統合薬学教育開発センター

〈実践臨床薬学 / 山下富義 教授〉
 ●臨床薬物動態のモデリング&シミュレーションに関する研究 ●薬物動態・薬効変動の機構解明と個別化医療への応用 ●臨床薬物治療情報のデータマイニングとそれに基づくリスクアセスメント

卒業後の進路

〈薬科学科〉

◆概要 / 卒業生のうち、9割以上が修士課程へ進学し、修士課程を修了した学生の2~3割が博士後期課程に進学します。修士課程修了者は8~9割が製薬会社などに専門性を活かして就職するほか、幅広い分野の企業にも就職します。博士後期課程修了者の就職先も修士課程と同様ですが、国内外の研究機関や国公私立大学にも就職するのが特徴です。

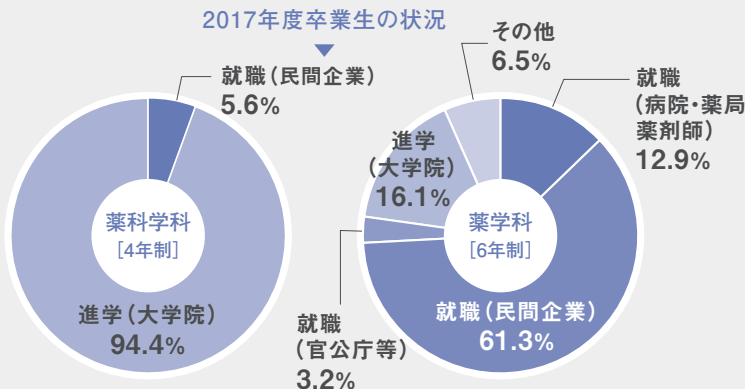
◆就職先の例(修士課程修了者) / アステラス製薬(株) MSD(株) 小野薬品工業(株) 小林製薬(株) 参天製薬(株) JSR(株) 塩野義製薬(株) 第一三共(株) (独)医薬品医療機器総合機構 日本新薬(株) ファイザー(株) 富士フィルム(株) など

◆取得可能な資格 / 薬学科(6年制)の卒業見込みの者および卒業生には、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。

〈薬学科〉

◆概要 / 卒業生のうち、1~2割が博士課程に進学します。学部卒業生はその多くが製薬会社などに専門性を活かして就職するほか、1~3割が薬剤師として医療機関に就職します。四年間の博士課程修了者の就職先も学部卒業生と同様ですが、国内外の研究機関や国公私立大学にも就職するのが特徴です。

◆就職先の例 / 京都大学医学部附属病院 アステラス製薬(株) 小野薬品工業(株) 大鵬薬品工業(株) 田辺三菱製薬(株) 中外製薬(株) 日本新薬(株) など





工学部

FACULTY OF ENGINEERING

地球工学科 建築学科 物理工学科
電気電子工学科 情報学科 工業化学科

工学部が望む学生像

- 高等学校での学習内容をよく理解して、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人。
- 既存概念にとらわれず、自分自身の目でしっかりと確かめ、得られた情報や知識を整理統合し論理的に考察することによって、物事の本質を理解しようとする人。
- 日本語・外国語を問わず、自らの意見や主張をわかりやすく発信する能力を身に着けるために必須の基礎的な言語能力とコミュニケーション能力を持った人。
- 創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲とバイタリティーに満ちた人。

京都大学の工学部とは

地球社会の持続的な発展を担う

学問の本質は“真理”の探究です。そうした学問領域のひとつである工学は、人々の生活に深く関わるテーマを扱っており、地球や社会の持続可能な発展や文化・文明の創造という人類の課題に責任を負っています。京都大学の工学部は、こうした考え方に立脚した教育・研究を行っており、確かな基礎学力、高度な専門能力、正しい倫理観、豊かな個性、これらを兼ね備えた人材の育成をめざしています。

自由の学風と学問の基礎を重視

京都大学が誇る“自由の学風”は、既存概念や他者の言質にとらわれず、あらゆる事象の本質を自分自身の耳目手足で確かめ、科学的に理解することに基づいています。そのため京都大学工学部では、共に学ぶ研究者や学生に自身を律する厳しさを求めています。また、工学は応用を主にすると思われがちですが、京都大学の工学部では、基礎となる学理をしっかり体得することが、将来の幅広い応用につながると考えています。

京都大学“最大”の学部

京都大学・工学部の歴史は、京都帝国大学が創設された明治30(1897)年6月の3カ月後、分科大学のひとつとして理工科大学が開校されたことから始まります。以来120年間、工学部は常に次代を見つめた拡充と整備を続け、京都大学“最大”の学部を発展しています。

工学の全領域をカバーする6学科

京都大学工学部は大学院重点化に伴い、平成5(1993)年以降、細分化されていた23学科を工業化学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、地球工学科、建築学科に改組し、6学科が有機的に連携しながら、工学分野のほとんどをカバーする教育・研究体制を整えています。あわせて平成15(2003)年には桂キャンパスを開設、大学院工学研究科のほぼ全専攻の移転にあわせ、工学部4年次の特別研究(卒業研究)の場ともなっています。



◆地球工学科・資源工学コースの地下実験風景



◆地球工学科・環境工学コースの分析風景



◆地球工学科・国際コースの水路実験風景

自由な発想と独創性に基づく 工学による社会貢献

京都大学 工学部の特色

伸び幅のある思考力と実践力の養成

京都大学の工学部は、学生が特定分野の専門知識を修得するだけでなく、幅広い視点から科学・技術の発展を見通し、新たなフィールドを開拓・創造していける人材を育てたいと考えています。そのため6学科すべてにおいて基礎教育を重視、伸び幅のある思考力と実践力が養えるようにしています。

柔軟な創造力を育む柔軟な学び

工業化学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、地球工学科、建築学科、それぞれが育成をめざす研究・開発・技術系人材には、柔軟な創造力が必要不可欠です。それを前提に各学科がカリキュラムに共通性や相互の融通性をもたせ、幅広く柔軟な学習ができるようにしています。あわせて必要に応じ、他学科や他学部の専門科目が履修できるようにもしています。

全学共通科目の履修に注力

京都大学の工学部では1年次から2年次にかけて、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に学びます。この全学共通科目は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群、計8科目群に分類されています。こうした2年間により、高度な専門分野を学ぶための基礎を養うと共に、幅広い学問にふれることで豊かな教養を身につけ、人としての視野を広げていきます。

高度な専門科目への段階的な移行

京都大学の工学部では概ね全学科が1年次から専門基礎科目を学び始め、2年次では同科目の履修が主になります。あわせて2年次から専門科目を学び始め、3年次では同科目の履修が主になります。こうして段階的に、学びを高度な専門科目に移行していくことで、強固な基礎を柔軟に応用するための知力・能力を着実に培います。

卒業に向けた創造的な研究活動

4年次で行う「特別研究(卒業研究)」では、担当教員の指導・助言を受けながら各自が定めたテーマに関する専門的な研究に取組み、その結果を学士論文にまとめます。この間、学生は各研究室に所属し、教員や大学院生を交えた議論を重ねつつ、創造的な研究活動を体感していきます。



在学生からのメッセージ

“モノづくりの力”を活用し
エンジニアリングの立場から
医療に貢献していきたい



工学部
工業化学科 4回生
畑谷 友亮さん
大阪府 茨木高等学校 出身

高校生の頃に参加した京大オープンキャンパスの講演後、工業化学科の教授から「一緒に化学をやろう!!」と声をかけてもらったのが、工業化学科に入学するきっかけです。また、京大の工業化学科では、高校で教わるような化学の範囲にとどまらず、物理や生命科学に近い化学まで、とても広範な分野を扱っています。そのため多種多様な研究室の中から、自分のやりたいことにあった研究室を選ぶことができました。高齢化が進む現在、単に寿命を伸ばすだけではなく、“健康寿命”を伸ばすことが求められています。そんな状況をふまえ、今後は工学の強みである「モノづくりの力」を活用、エンジニアリングの立場から医療に貢献する研究をしていきたいです。

多様な分野の知識を融合し
かつてなく新しいデバイスを
開発するのが目標です



工学部
電気電子工学科 4回生
宮崎 大輔さん
大阪府 北野高等学校 出身

1・2回生では専門科目の講義は思いのほかに少なく、むしろ数学や物理の講義が多く、専門科目を理解する際に必要な理数系の基礎を学びました。その後、電気電子工学科では2回生の後期から専門科目が増えていき、3回生からはほとんどの講義が専門科目です。但し電気や電子に関することばかり勉強するのではなく、プログラミングや通信など、情報分野の授業も数多くあります。また、4回生で配属される研究室には、回路などの電気分野、半導体などの電子分野、情報分野の研究室もあります。このように幅広い知識が得られ、幅広い分野へ進める可能性がある京大の電気電子工学科。さまざまな考え方や知識をもつ人々にも出会い、視野がさらに広がったと思います。

工学部

6学科の紹介

地球の合理的な開発・保全と
人類の持続可能な発展を支える

地球工学科

地球工学(Global Engineering)は、文明に必要な資源・エネルギーの技術体系、文明を支えるインフラ(社会基盤施設)の技術体系、人間・自然環境の均衡を維持する技術体系、これら3分野の他、それらの有機的な融合分野で構成されています。このように「地球工学科」が対象とする科学技術は多岐にわたりますが、「Think Globally and Act Locally」を理念に掲げ、地球全体の合理的な開発・保全と人類の持続可能な発展を支えることをめざしています。その教育は、多様な領域に広がる科学技術を総合的に理解するための見識を養うことを目的としています。また、より専門的な科学技術については、世界の最先端知にふれながら、高度な研究や実務が遂行できる能力を養っていきます。あわせてすべての授業を英語で受講する「国際コース」を設置、国際的技術者の育成につなげています。

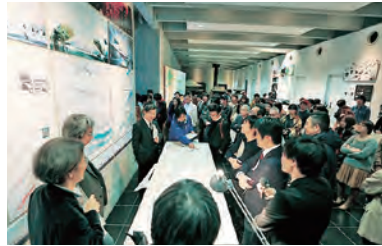


◆強風下の橋梁の空力振動に関する風洞実験

人間生活や環境のあらゆる面に
深く関わるヒューマンな技術を学ぶ

建築学科

人間の生活環境を構成し、安全で健康にして快適な生活を発展させるよりどころとなる建築は、多様な技術を総合した創造的な努力によってつくりだされます。建築は人間生活のあらゆる面に深く密接に係わっており、ヒューマンな技術といえます。このような特色から、「建築学科」の教育は、自然科学、人文・社会科学の広い分野にまたがり、卒業後の進路も、建築設計及び施工に従事する建築家、建築構造技術者及び設備環境技術者、行政的な指導・監督にあたる建築行政担当者、大学・研究機関で新しい技術を開発する研究者、各種開発事業に携わるコンサルタントやプランナーなど実に多様です。したがって「建築学科」では自然科学だけでなく、人文・社会科学、さらには芸術にも深い関心をもつ学生もひとしく歓迎し、いずれもその才能を十分に伸ばせるような教育を行っています。



◆設計演習講評会

新技術の創造人材の養成に向けて
学際で連なる5コースを設置する

物理工学科

この21世紀を起点とする次代に向けて、物理学の分野には新たなシステムや材料、エネルギーの開発などに加え、宇宙空間の利用といった課題の解決への期待が寄せられています。こうしたニーズに応えるための新技術を創造するには、基礎的学問を十二分に修得しておくことが必要です。そうした観点から「物理工学科」では、基礎を重視した教育・研究を進めています。あわせて機械システム学、材料科学、宇宙基礎工学、原子核工学、エネルギー応用工学の5コースが密に連携しあい、一体化した指導を行っています。さらに学生の多くが進む大学院・工学研究科には機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学、原子核工学、材料工学の各専攻があり、エネルギー科学研究科と情報学研究科の各専攻や附属研究所等とも協力し、学際的な広がりをもつ基礎的研究と専門教育を行っています。



◆クリーンルームでの微細加工実験

卒業生からのメッセージ

自分のやりたいことを
思う存分できる京大の工学部は
能力を高めるのに最高の環境

工学部の4年間を経て修士課程に進み、今は産業施設の火災安全に関する研究を行っています。修士課程への進学動機は専門的な知識を養い、火災安全設計や建築環境設計ができるようになりたいと思ったから。また、京大は「自由の学風」を掲げており、学部生の頃から多様な分野の講義が受講でき、かつ最先端の研究をされている教授のもとで専門性が磨けます。自分のやりたいことを思う存分できる京大の工学部。自身の能力を高めるのに最高の環境だと思います。



京都大学 大学院 工学研究科
建築学専攻 修士課程 1回生

市川 修暉さん

京都大学 工学部 建築学科 2018年3月卒業
福井県 高志高等学校 出身

ロボットを集団で協調させ
動かすための理論構築などに
意欲的に取り組んでいます

工学部の授業で松野先生から多様なロボットのお話を聞いて以来、卒業後は松野先生の研究室でロボット工学を学ぶことを目標にしてきました。また、目標が明確に定まったことで学部の多様な勉強の意味が理解でき、学修意欲を高く保つことができました。現在は松野研究室の博士課程に属し、ロボットを集団で協調させて動かすための理論構築やロボット製作など、以前からモチベーションにしてきたテーマに取り組むことができ、大きな幸せを感じています。受験生の皆さんもぜひ、目標をもって日々の活動に取り組んで欲しいと思います。



京都大学 大学院 工学研究科
博士課程 2回生

早川 智洋さん

京都大学 大学院 工学研究科
修士課程 2017年3月修了
京都大学 工学部 物理工学科 2015年3月卒業
愛知県 刈谷高等学校 出身

あらゆる産業や生活基盤に
必要不可欠な科学技術を支える

電気電子工学科

電気電子工学は、現代社会のあらゆる産業や社会インフラに不可欠な科学技術を支えています。また、高性能で安全な情報通信ネットワーク、ナノテクノロジーによる新しい機能をもった素子や装置、人に優しい医療技術や正確・精緻な診断技術、エネルギーの生成と利用の高効率化など、21世紀の社会を豊かにするための課題についても重要な役割を担っています。こうしたニーズをふまえ、「電気電子工学科」では、幅広い領域におよぶ総合的な知識と高い専門性に加え、複眼的な視野や卓越した独創性、倫理観を備えた人材の育成をめざしています。そのためカリキュラムは綿密かつ入念に基礎を学習後、各自が志望にあわせて専門科目を選択履修するようになっており、これらを通じて最先端の科学技術を理解しながら、電気電子工学のさらなる発展が担える知識と技術を身につけていきます。



◆2年次での実習

高度情報化社会の進化にあわせ
複雑なシステムの問題を解決していく

情報学科

社会の高度情報化が進み続けている今、情報システムも巨大化・複雑化する一方で、工学の多様な専門分野に連なる数理モデルの解析が求められています。あわせて複雑なシステムを通じて得た膨大な情報の“かたまり”、ビッグデータの分析も必要とされています。それにはシステムの機能はもちろん、そこに流れる“情報”の本質を解明し、それに基づく効率的なデザインを進めるための思考が重要になってきます。これらをつまみ、「情報学科」では基礎から応用に至る総合的な教育・研究の実施に向けて、学生は1年次の終了時点で「数理工学コース」か「計算機科学コース」に選択所属。数学や物理を基礎とする数理的思考により、複雑なシステムの実践的な諸問題を解決し、計算機のハードウェア、システム・ソフトウェア、情報システム、これらを設計・活用できる人材をめざして学びます。

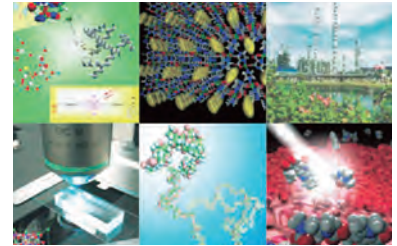


◆情報学科新入生宿泊研修

人々の豊かな生活を支えつつ
最先端科学技術の基盤を担う

工業化学科

化学はさまざまな物質が創出される反応とそのプロセス、および物質に機能を与える物性などを対象とする学問であり、人々の豊かな生活を支えると共に、最先端科学技術の基盤を担っています。これらを前提に「工業化学科」では、化学に関連する幅広い分野で活躍できる研究・開発・技術系人材の育成をめざした教育を行っています。具体的には、1年次では幅広く語学や人文社会科学の科目を履修しながら、化学や物理学、数学などの自然科学系基礎科目を学びます。2年次では前期から工業化学科の専門基礎科目を主に学びます。また、2年次後期には「創成化学」「工業基礎化学」「化学プロセス工学」3コースへの選択所属が行われ、3・4年次をふくむ専門教育をスタートします。4年次では所属する研究室での卒業研究を通じ、高度な専門知をもつ研究者・技術者としての土台を強固にしていきます。



◆工業化学科での最先端化学の研究

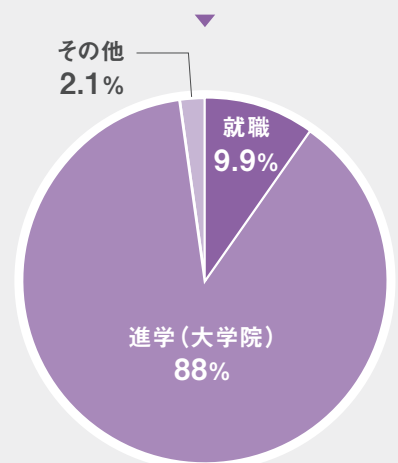
卒業後の進路

◆概要／工学部では例年9割近くの学生が、学科の学びが直結する本学の工学研究科、エネルギー科学研究科、情報学研究科、いずれか大学院(修士課程)に進学します。その後も博士課程に進み、大学等の研究・教育職をめざす者も少なくありませんが、専門分野と密に関連する企業などの求めに応え、研究・開発・技術職に就くという進路も広がっています。

◆取得可能な資格／在学中に所定の科目を修得することにより、測量士、建築士、電気主任技術者、無線従事者、危険物取扱者、ボイラー取扱主任者などの資格取得に向けた学科試験の全科目、または一部が免除されます(卒業後一定の実務期間を経ることで受験資格が得られる資格もあります)。



2017年度卒業生の状況





農学部

FACULTY OF AGRICULTURE

資源生物科学科 応用生命科学科
地域環境工学科 食料・環境経済学科
森林科学科 食品生物科学科

農学部が望む学生像

農学部では、食料問題や環境問題など、21世紀の人類が直面する生命・食料・環境に関する様々な問題に対して、理科(生物学、化学、物理学、地学)をベースとする自然科学的アプローチのみならず、経済学、社会学などをベースとする人文・社会科学的アプローチも含めた総合的な観点から取り組んでいます。そのため、農学部では、この人類存続の大問題に対して果敢に挑戦する意欲、特定の分野に偏らない幅広い視野、高い倫理性、および論理的に解決策を見出していく能力(学力)を有する学生を求めています。

農学部への誘い

農学部は、その名の通り、農学を学ぶ学部ですが、農学と聞いても、「農業」というイメージしか浮かばないかもしれません。しかし、今日の農学は「生命・食料・環境」というキーワードで表される総合的な学問へと変貌しています。まず、農学は、生命に関する総合科学でもあります。実際に、農学では、微生物、植物(穀物、草本植物、樹木など)、動物(昆虫類、魚類、家畜など)など様々な生物を取り扱っています。また、バイオテクノロジー、遺伝子組み換え、バイオマスなども重要なキーワードになっています。次に、農学は、「食」と直結している学問でもあります。地球規模でみれば、食料問題は深刻な問題です。そのために、農学が果たすべき役割は大きく、農林水産業や食品関連産業の新技术の開発に注力するとともに、農業経済や農業経営などの社会科学的なアプローチも行っています。これについては、農業のハイテク化、農業用ロボット、植物工場、品種改良、食品と健康、植物生産の新技术、フードシステムなど数々のキーワードを挙げることができます。さらに、人類の生活基盤を揺るがす環境破壊(陸域や海洋汚染、森林破壊など)は、農林水産業の生産基盤を脅かすだけでなく、農林水産業が原因となることもあります。そのため、環境問題に対する取り組みは二重の意味で農学の重要な使命の一つとなります。ここでは、自然調和型農業、熱帯林保全、里山保全、生物多様性の維持(希少生物の保全)などのキーワードを挙げるすることができます。このように、今日の農学は、分子・細胞レベルから生態系・地域レベルまで広範囲にわたって、人類の健康で文化的生活を保障すべく、大きな使命を果たしています。

現在、京大農学部は、6学科体制で、今日の農学のほぼ全域で、教育と研究を展開しています。今日の農学は、明日の農学に向けて日々進化しています。皆さん、京大農学部で、明日の農学に向けてチャレンジしてみませんか。



生命・食料・環境

農学部教育

専門知識の習得と広い視野の育成

6学科を設置

農学部は、農学とそれに関連する知識とともに高い倫理性を身につけた社会人を育てることを目的としています。さらにそのような人材に(1)人類が直面する課題に対して、幅広い視野から科学的解決法を構想する能力(2)農林水産業及び食品・生命科学関連産業の意義と重要性を理解し、その発展に寄与する能力(3)生命・食料・環境に関わる世界水準の自然科学・社会科学の研究を理解する能力を備えさせることをめざしています。

この目的を実現するため、農学部では6学科を設置し、本学の最大の特徴である自由の学風を尊重しながら、ものごとを広い視野から総合的に判断することができる人材の育成に取り組んでいます。

人間社会は、地球上の動植物や微生物などさまざまな生物と持続的に共存しながら、それらを利用しています。生物を資源として利用しようとする場合、生物が生命を維持している仕組みや、食物連鎖や物質循環をとらえてどのような生態系を形成しているのかについての、広く深い理解が欠かせません。また、人間の活動をより自然と調和のとれたものに改善していくためには、工学的な技術や社会科学の手法を用いた分析も必要になります。それぞれの学科で求められる専門知識の基礎をしっかりと身につけながら、関連する分野にも積極的に興味をもって視野を広げていくことが求められます。

どのように学びはじめるのか：第1年次

農学部では入学時に学ぶ学科が決まり、それぞれの学科で4年間の一貫教育がおこなわれます。農学では生物学、化学、物理学などの自然科学に加えて、社会科学の手法も用いられますが、各学科のカリキュラム(授業計画)には、これらの教養科目と専門科目がクサビ状に組み合わせられて構成されています。

第1学年で大切なことは、学部・学科にとらわれない幅広い学識を養うことです。そこで、1年間は全学共通科目を重点的に学びます。例えば、自然科学、人文・社会科学、語学などの基礎教養科目を履修します。保健・体育科目などへの参加もでき、留学生とのふれあひも多い「国際教育科目」を加えるなどして自分のカリキュラムを作ります。

どのように学びを高めるのか：第2・3年次

第2学年の後期(秋から冬)になると、専門基礎科目の割合も増えて、いよいよ第3学年からの本格的な専門教育に備えます。農学部の専門科目では、講義に加え、実験、実習、ゼミナールが重視され各学科において必要とされる実験技術・手法に関する密度の高い教育が実施されます。農学部は京都大学の中でも派遣留学生(京都大学から外国へ留学する学生)の数が多く、国際交流活動の最も盛んな学部の1つです。毎年、数多くの学生が、将来への抱負と希望をもって、派遣留学に挑戦します。

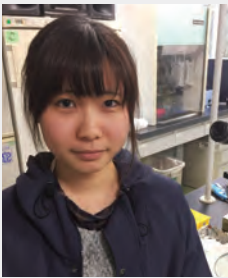
第3学年は専門科目の受講に終始します。研究者への第1歩としても重要なプロセスですが、同時に研究分野(研究室)への分属という大きな選択をする時期です。将来の方向も考えて分野訪問などで情報を収集しながら、体系だった講義の選択が求められます。農学部の各学科では、それぞれに工夫をこらしたシステムで各分野への分属を決定します。

どのように学びを結ぶのか：第4年次

第4学年では、研究分野に分かれて課題研究(卒業研究)に1年間取り組み、卒業論文を仕上げます。教員の指導や助言を受けながら、大学院生とともに未知の分野の研究に取り組む、研究者としての最初のステップです。従って、この1年間は自身の研究、研究分野のゼミナール、そして進学希望者は大学院入学試験の受験準備に没頭する生活を送ることになります。以上により、所定の単位を修得した学生は、学士(農学)の学位を取得して卒業します。さらに研究を深めようと志す多くの学生は大学院へ進学します。

在学生からのメッセージ

皆さんも京大の農学部に入り
夢中になれる研究対象を
見つけませんか？



農学部
資源生物科学科 4回生
三木 佑果さん
東京都 日比谷高等学校 出身

「すごい研究ができる(かもしれない)」と思ったのが、京大農学部の受験動機です。まったく漠然とした動機のため、なかなか興味の対象を絞れなかったのですが、4回生で生殖生物学分野の研究室に所属したのは、学生実験で取り組んだマウスの体外受精に感動したから。それで今、マウスの卵子に関する研究をしているのですが、かつてないくらい夢中になっていて、卒業後も大学院で続けるつもりです。実際、京大農学部には自身の研究を楽しそうに話される先生方がたくさんおられ、しかも分野は幅広く、好きなことに没頭できます。皆さんも京大の農学部に入り、夢中になれる研究対象を見つけないか？

まずは“新米”研究者として
しっかり着実に修業を積み重ね
社会に役立つ研究がしたいです



農学部
食品生物科学科 4回生
宮本 侑季さん
奈良県 西大和学園高等学校 出身

「将来は食品関係の仕事がいいな」となんとなく考え、食品生物科学科に入学したのですが、講義は1年次から有機化学、生物学、食品工学など、バラエティに富んでいました。さらに3年次の学生実験では身近な食品に込められている科学の力を感じ、それらへの興味を深めていきました。そうした学びを経て研究室に配属した今、まずは“新米”研究者としての修業を積み、将来的には社会に役立つ研究がしたいと思っています。既に農学部に興味を持っている人はもちろん、まだ具体的に何がしたいのか定まらず悩んでいる皆さんも大丈夫。京大の農学部なら興味もてること、きっと見つかりますから!!

農学部

6学科の紹介

資源生物の有効利用に向けて
多面的な研究に取り組む

資源生物科学科

「資源生物科学科」は陸地や海洋に生育・生息する資源生物の生産性と品質の向上について、環境との調和を図りつつ追求するための教育・研究を行っています。あわせて資源生物を対象に、外敵や病気から守る技術の開発、成育・生息に好ましい環境を持続的に保全する方策の探究、有用物質や遺伝子の有効な利用法の考察、これまで生産が見込めなかった劣悪な環境で育つ新品種の創出など、基礎から応用に至る研究を多面的に行っています。

●主な学習対象／作物学 育種学 蔬菜花卉園芸学 果樹園芸学 栽培システム学 植物生産管理学 植物遺伝学 植物生理学 栽培植物起原学 品質評価学 品質設計開発学 動物遺伝育種学 生殖生物学 動物栄養科学 生体機構学 畜産資源学 生物資源情報学 海洋生物環境学 海洋生物増殖学 海洋分子微生物学 海洋環境微生物学 海洋生物生産利用学 海洋生物機能学 雑草学 熱帯農業生態学 土壌学 植物病理学 昆虫生態学 昆虫生理学 微生物環境制御学 生感情報開発学



生物資源の生産・加工・利用・保全を
化学的・生物学的に探求する

応用生命科学科

「応用生命科学科」は、微生物、植物、動物など生物の生命現象や機能を化学、生物学、生化学、物理学、生理学、分子生物学の立場から深く探求・理解すること(バイオサイエンス)をめざしています。さらにその成果を農・医薬品、食品、化粧品をはじめとする生活に有益な物質の高度な生産や利用に応用する(バイオテクノロジー)ための教育と先端的な研究を進めています。

●主な学習対象／細胞生物学 生体高分子化学 生物調節化学 化学生態学 植物栄養学 発酵生体および醸造学 制御発酵学 生体機能化学 生物機能制御化学 エネルギー変換細胞学 応用構造生物学 分子細胞育種学 植物分子生物学



環境と調和した食料生産をはじめ
豊かな21世紀社会の構築をめざす

地域環境工学科

「地域環境工学科」は、環境と調和した効率的な食料生産、地球全域をふくむ環境・エネルギー問題の解決、環境共生型農村社会の創造、これらをターゲットに工学的な技術をツールとする教育・研究を行っています。具体的には、水循環の制御による貴重な水資源の合理的な利用、アセットマネジメント(農業水利施設の効率的な維持管理と更新)による生産環境の充実、生態系と調和した大気・水・土壌環境の実現、農村計画と住民主体による地域づくり、持続的食料生産のためのエネルギーの変換・利用、最小の入力で最大の効率を得る植物工場や精密農業、農畜水産業のロボット化および生物センシングなどであり、さまざまな研究をとおして豊かな21世紀社会を構築していきます。

●主な学習対象／施設機能工学 水資源利用工学 水環境工学 農村計画学 農業システム工学 フィールドロボティクス 生物センシング工学



卒業生からのメッセージ

在学中に修得した専門性を活かし
農業が直面する多様な課題に
アプローチしています

幼い頃から昆虫や植物が好きだった自分に向きあって京大の農学部を志望、入学後は水、土、緑、食料、エネルギーなど、多角的に農学を学びました。そうした学びから、環境を制御することで野菜の効率的な生産や栄養価向上を図る「植物環境工学」に興味をもち、進んだ修士課程で研究に打ち込みました。修了後は在学中に修得した専門性を活かし、勤務するハウスメーカーの新規事業部門で野菜の機能性を高める栽培システムの研究開発に携わっています。自身が開発したシステムにより、農業が直面する多様な課題の解決につながるアプローチをしていくことが今の目標です。



大和ハウス工業株式会社
総合技術研究所 フロンティア技術研究室

伊藤 彩菜さん

京都大学 大学院 農学研究科 地域環境科学専攻
修士課程(農業システム工学分野) 2014年3月修了
京都大学 農学部 地域環境工学科 2012年3月卒業
京都府 同志社高等学校 出身

“生きる”の根本にある
食への「？」を追求した4年間が
今の自分の原点です

きっかけは小さな疑問でした。中学校の家庭科で「地産地消しよう」と言われたのですが、私の育ちは畑だらけの片田舎。なんでわざわざそんなことを言うのだろうと不思議に思ったのです。それで高校3年生になり、志望する学部を選ぶ際、心に引っかかっていた疑問に向きあってみようと思えました。そして京大の農学部へ入学、在学中は限界集落で農と共に暮らして体験する一方、食を支える大きな経済システムについても学びました。食は“生きる”の根本。食の探究を通じ、ビジネスと心の豊かさの狭間で人間らしく生きることについて考えた時間でした。心の豊かさどビジネスの両立をめざし、選んだのが広告業界。京大農学部こそ今の自分の原点です。



株式会社 博報堂

阿部 成美さん

京都大学 農学部
食料・環境経済学科 2014年3月卒業
山口県 山口高等学校 出身

人々の生活に関連深い食料問題と環境問題に関する教育・研究を行う

食料・環境経済学科

「食料・環境経済学科」では、私たちの生活に最も関連の深い食料問題と環境問題に関する教育・研究を行っています。また、これらの問題を国内だけでなく世界的な次元で捉え、途上国の貧困問題、人口問題、技術の開発普及、農林水産物の貿易問題が内包する食品安全性、さらに農山漁村の社会経済生活などに関する研究も進めています。その際、有限な地球環境資源の保全と両立する持続可能な資源循環型社会の在り方に関しても視野・視点を広げ、学際的かつ総合的に取り組んでいるのも「食料・環境経済学科」の特色です。

●主な学習対象／農業食料組織経営学 経営情報会計学 地域環境経済学 食料・環境政策学 森林経済政策学 国際農村発展論 比較農史学 農学原論



森林の科学的な教育・研究により自然保護と豊かな社会の共存をめざす

森林科学科

森林には樹木をはじめ、多様な動植物や菌類による生態系があり、私たちの生活に欠かせない木材や紙となる木質資源を供給すると同時に、災害防止や気候維持などの環境保全機能も担っています。「森林科学科」では、自然保護と豊かな社会との共存に向けて、森林とそのバイオマス資源を対象とする教育・研究を行っています。さらに学生一人ひとりがその関心にあわせて学べるよう、生態系、生物多様性、管理と生産、緑地工学、地球環境化学、材料工学、有機化学、分子生物学、細胞生物学、バイオマスエネルギー、社会科学的アプローチなど、独創的な教育・研究テーマを用意しています。

●主な学習対象／森林・人間関係学 熱帯林環境学 森林利用学 森林生物学 環境デザイン学 山地保全学 生物材料設計学 林産加工学 生物繊維学 樹木細胞学 複合材料化学 生物材料化学 森林生態学 森林水文学 森林生化学 森林育成学 森林情報学 エネルギーエコシステム学 生物圏情報学



新しい食品の開発や生産に関わる研究者・技術者を育成する

食品生物科学科

「食品生物科学科」は新しい食品の開発や生産に関わる研究者・技術者の育成をめざしています。あわせて“食”に焦点をあてた希有な化学系学科として、国内外から高い評価を得ています。さらに次の3点、①食に関する研究を通じて生物・生命を理解すること、②人間にとってより良い食品を創製すること、③食品の効率的な生産に寄与する技術を開発すること、これらを目的とする教育・研究を行っており、学習対象は下記の9分野に広がっています。

●主な学習対象／酵素化学 食品化学 生命有機化学 栄養化学 食品分子機能学 食品生理機能学 農産製造学 生物機能変換学 生体情報応答学



卒業後の進路

◆概要／農学部では例年8割前後の学生が大学院に進学します。また、就職先は官公庁、公的研究機関、化学・食品等の製造業、バイオテクノロジー関連産業などはもちろん、商社や金融・保険業からコンピュータ関連まで、年々幅広くなっており、多くの卒業生が公務員や研究・開発職、あるいは総合職として、各界で活躍しています。

◆就職先の例／パナソニック ダイキン工業 日本たばこ産業 住友林業 アサヒ飲料 農林中央金庫 三菱東京UFJ銀行 アクセンチュア クボタ 日清食品ホールディングス キリン 大建工業 三井住友銀行 積水化学工業 京都府庁 タカラバイオ 不二製油 林野庁 石原産業 西日本旅客鉄道 など

◆取得可能な資格／農学部では教育職員免許状の取得を目的とした教職課程の他、食品衛生管理者、食品衛生監視員、測量士補、樹木医補といった資格の取得・認定に向けた教育課程を設けています。

〈取得可能な教育職員免許の種類と教科〉(再課程認定申請中)

中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状
森林科学科／理科(予定)^{*1} 食料・環境経済学科／農業(予定)^{*2}
森林科学科／理科(予定)^{*1}

※1 森林科学科以外の学科に入学した学生も、森林科学科における所要資格を満たせば取得可能の予定です。
※2 食料・環境経済学科以外の学科に入学した学生も、食料・環境経済学科における所要資格を満たせば取得可能の予定です。

2017年度卒業生の状況

